Fiery FS500 Pro および Fiery FS500

新機能に関する製品ガイド – カット紙対応 Fiery サーバー

最終更新日時：

1/25/2022

目次

はじめに *4*

イノベーションと基礎領域別の新機能 5

カラー&イメージング *7*

Fiery Preflight Pro 7

Fiery Preflight を標準搭載 8

Adobe PDF Print Engine 5.5 10

Fiery TrueBrand 11

EFI ES-3000 のネイティブサポート 11

PANTONE Formula Guide V4 のサポート 12

カラープロファイルの使用の追跡 13

キャリブレーターの改善 13

スポットカラーのオーバープリント 14

ラスター曲線エディター 15

Fiery Spot Pro の改良 16

Fiery ImageViewer の改良 18

生産性 *21*

パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスの向上 21

PDF Print Engine をデフォルトのインタープリターに設定 22

Fiery JobExpert の改善 23

Fiery JobExpert と PDF Processing Kit 24

Duplo DC-618 フィニッシャーのカスタム面付け 26

クイックアクセスのカラー設定の強化 27

サーバーの垣根を越えたジョブ検索 28

Fiery Command WorkStation Package の毎月のアップデートの高速インストール 29

管理 *30*

推定印刷時間 30

Fiery Finishing Designer 30

高度な検索 31

移動/コピー 32
Fiery Hot Folders が Fiery FreeForm Plus ファイルに対応 33
ジョブのタグ機能の強化 34
ライセンス管理の簡易化 35
連携 *36*
新しい Fiery のデフォルトのランディングページ 36
セキュリティの監査ログ 37
Fiery QuickTouch の改善 37
Fiery JDF 1.8 40
Fiery API 5.2 41
クラウド対応 Fiery サーバー 42
ネットワークステータス通知 43
Debian 10 Linux 44
Fiery Command WorkStation の通知 45
高い信頼性 *46*
Fiery システムソフトウェアのインストールワークフローの改善 46
Fiery 自動回復の改善 46
Fiery ヘルスモニターの改善 48
セキュア *49*
セキュリティアップデート 49
ネットワークセキュリティ設定の強化 50
ユーザー指定の Windows 10 オペレーティングシステムのサポート 50
修正/削除された機能 *52*
Adobe Acrobat Pro 2020 オプションキットへの置き換え 52
PCL ソフトフォント 52
スプール済みジョブのプレビューのオプション 52
コントロールバーの範囲の縮小 53
無料の学習リソース *54*
Fiery 認定プログラム 54
EFI Communities *55*
その他のリソース *56*

はじめに

新しい Fiery® FS500 Pro/FS500 システムは、革新的でインテリジェントなテクノロジーを利用して、変化するプロダクション印刷環境のニーズに対応し、今後の成長に合わせて拡張できます。この統合型デジタルフロントエンドは、最新リリースの新機能によって次のように改良されます。

- 新しいハードウェアおよびソフトウェアアーキテクチャの変更によって、パフォーマンスとユーザビリティが大幅に向上
- インストール、アップデート、メンテナンスを簡易化
- 外部および組み込みサーバーの両方で適切な出力を実現するのに役立つ、新しいプリプレスツールとインテリジェントな自動化ツールを追加
- ブランドカラーを管理および実装するツールへのアクセスを組織全体で簡易化
- スポットカラーの精度を向上し、実装を簡易化
- 高セキュリティ環境のニーズに対応するための新しい機能を追加
- EFI™クラウドソリューションへの接続を簡易化

Fiery FS500 は Linux ベースの組み込みサーバー、Fiery FS500 Pro は Windows ベースの外部サーバーで利用できます。Fiery FS500 Pro という言葉は、システムレベルのソフトウェア全般のことを指す場合にも使用されます。

Fiery DFE は、セキュリティ、信頼性、拡張性、接続性、ユーザー中心のオペレーションを重視した強固な基盤の上に成り立っています。Fiery FS500 Pro サーバーの新機能によって、Fiery の基礎領域はより強固になり、日常業務の信頼性とセキュリティが向上します。この製品ガイドでは、イノベーション領域や、そうした基本要素ごとの新機能を紹介します。

このガイドの各機能のセクションの末尾には、その機能の使用可否を示す重要情報も含まれています。

カット紙対応外部サーバー	カット紙プリンター対応 Windows ベースサーバー
カット紙対応組み込みサーバー	カット紙プリンター対応 Linux ベースサーバー
標準	デフォルトで利用可能
オプション	使用するためにはオプションのソフトウェアパッケージが必要
なし	使用不可
Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認	製品ごとに使用可否が異なる
サーバー	外部または組み込みサーバー用の FS500 Pro/FS500 ソフトウェアに組み込まれている機能
クライアント	特定のバージョンの Fiery Command WorkStation が必要な機能

イノベーションと基礎領域別の新機能

カラー&イメージング

- Fiery Preflight Pro**
- Fiery Preflight ***
- Adobe® PDF Print Engine 5.5
- Fiery TrueBrand™
- EFI ES-3000 のネイティブサポート
- 294 色の PANTONE カラーのサポート
- カラープロファイルの使用の追跡
- キャリブレーターの改善
- スポットカラーのオーバープリント

生産性

- 最新の Fiery ハードウェアによるパフォーマンスの改善
- PDF Print Engine をデフォルトのインタープリターに設定**
- Fiery JobExpert の改善
- Fiery JobExpert と PDF Processing Kit*
- Duplo DC-618 フィニッシャーのカスタム面付け
- クイックアクセスのカラー設定の強化
- サーバーの垣根を越えたジョブ検索

管理

- 推定印刷時間
- Fiery Finishing Designer
- ライセンス管理の簡易化
- 高度な検索
- 移動/コピー
- タグ機能の強化
- Fiery Hot Folders が Fiery FreeForm Plus ファイルに対応

連携

- 新しい Fiery のデフォルトのランディングページ
- セキュリティの監査ログ
- Fiery QuickTouch の改善**
- Fiery JDF 1.8
- Fiery API 5.2
- クラウド対応 Fiery サーバー
- ネットワークステータスの通知の改善
- Debian 10 Linux*

• ラスター曲線エディター • Fiery Spot Pro の改善 • Fiery ImageViewer の改善	• Fiery Command WorkStation Package の毎月のアップデートの高速インストール		• Fiery Command WorkStation の通知
セキュア		**高い信頼性**	
• セキュリティアップデート • ネットワークセキュリティ設定の強化 • ユーザー指定の Windows 10 オペレーティングシステムのサポート**		• Fiery システムソフトウェアのインストールワークフローの改善** • Fiery 自動回復の改善 • Fiery ヘルスモニターの改善	

** Linux ベースの Fiery 組み込みサーバーでのみ利用可能*

*** Linux ベースの Fiery 外部サーバーでのみ利用可能*

**** Windows ベースの Fiery 外部サーバーの標準機能として利用可能。また、Linux ベースの Fiery 組み込みサーバーの Fiery Automation Package の一部のオプションとして利用可能*

下線：Fiery Command WorkStation 6.6 または 6.7 の一部として利用できるクライアント機能

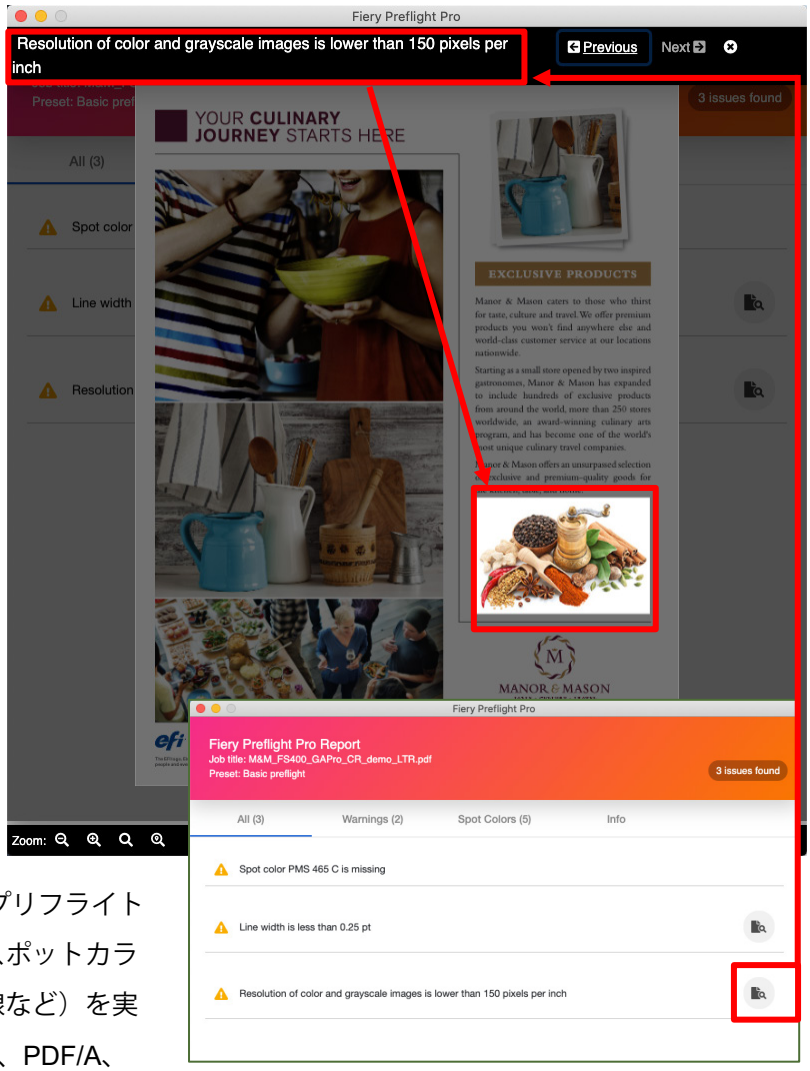
注意：機能はプリントエンジンのモデルによって異なります。利用できる機能を確認するには、各製品のデータシート、または機能の表を参照してください。

カラー&イメージング

Fiery Preflight Pro

新しい Fiery Preflight Pro アプリケーションでは、優秀な各種 PDF 品質管理チェック機能を利用して、ファイルを適切に印刷できます。Fiery Preflight Pro は、Fiery Graphic Arts Pro Package の一部の Fiery Preflight の代わりになるものです。

PDF 品質管理チェックというこれらの機能では、無駄な印刷やクリック操作が収益に影響する可能性のある印刷ソースの問題を、より正確にトラブルシューティングすることができます。



インタラクティブな Fiery Preflight Pro レポートでは、PDF ファイル内のコンプライアンス関連のエラーについて、概要を視覚的に把握できます。ユーザーは上記の例のように、ファイル内でオブジェクトベースのエラーや警告が生じた場所を正確に

Fiery Preflight Pro は、基本的なプリフライトチェック（オーバープリント、スポットカラーの欠落、低解像度の画像、細線など）を実行するだけでなく、ISO（PDF/X、PDF/A、PDF/VT、PDF 2.0、PDF/E）などの業界標準や、Ghent Workgroup（GWG）などの業界団体の仕様に、ファイルが準拠しているか検証することもできます。こうした業界標準に準拠することで、印刷用 PDF 内のすべてのデータを有効な状態で保持し、ファイルを適切に印刷できるようになります。

エラーや警告は、すべて Fiery Preflight Pro レポートに表示されます。このレポートは、PDF 内の問題がある要素の概要を把握できるアプリケーションです。オーバープリントやスポットカラーの欠落、細線、低解像度の画像など、PDF 内のオブジェクトベースの要素については、インタラクティブな Preflight Pro レポートを参照することで、PDF 内でエラーが生じた場所を正確に確認できます。

たとえば、透明部分を含むファイルの場合は、Preflight Pro の PDF/X-4 プロファイルに照らしてチェックできます。この業界標準では、CMYK、RGB、L*a*b 色空間内での透明部分の適切な構成が定められています。Preflight Pro レポートには問題のある透明部分がすべて表示されるため、それを見てデザインファイル内で修正を施すことができます。

Fiery Preflight Pro と Fiery JobExpert を組み合わせることで、「プリフライトと設定」の機能を利用できます。ユーザーは、PDF がコンプライアンス標準に即しているかを検証し、自動的にジョブに合った適切なカラーや画像処理を設定することができます。また、Fiery Hot Folders または Fiery JobFlow Base/JobFlow を利用すれば、Fiery Preflight Pro を自動化して、手動操作を必要としない自動コンプライアンスチェックを行うこともできます。

メリット：

- プロダクション開始前にファイルが適切に印刷されることを確認して、無駄な素材やクリック操作を減らすことができます
- 業界標準への準拠を徹底できます
- Fiery JobExpert と組み合わせることで、確実にファイルの印刷準備を整え、最適な印刷設定を自動選択できる総合ソリューションにもなります

使用可否：

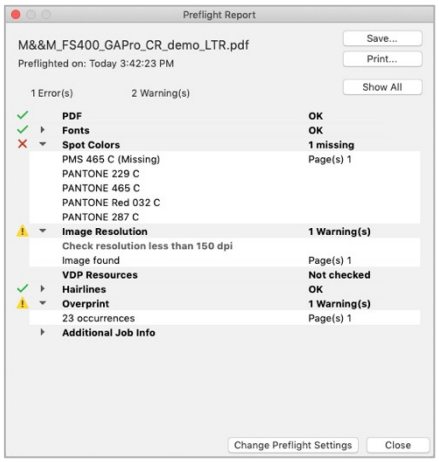
カット紙対応外部サーバー	Fiery Graphic Arts Pro Package が必要
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery Preflight を標準搭載

Fiery FS500 Pro 外部カラーサーバーには、Fiery Preflight が標準搭載されています。Fiery FS500 組み込みサーバーでは、引き続きオプション機能として利用できます。

Fiery Preflight では、ファイル内の次のような問題を対象に、基本的なプリフライトチェックを行うことができます。



Fiery Preflight レポートではファイル内の潜在的な問題を特定できます

- スポットカラー、VDP リソース、フォントなどの要素の欠落
- 低解像度の画像やオーバープリントなどの潜在的なエラー

Fiery Preflight は、個々のエラーチェック要件に合わせて設定できます。Fiery Hot Folders を利用して基本的なプリフライトチェックを自動的に実行したり、Fiery Preflight と JobFlow Base/JobFlow を連携させて、手動操作を必要としない全自動ジョブ検査ワークフローを実行したりできます。

メリット：

- ジョブの印刷前にファイル内の潜在的エラーを検出し、無駄なクリック操作をなくすことができます

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	カラーサーバーのみ標準搭載
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery Automation Package が必要

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

比較：Fiery Preflight Pro と Fiery Preflight

機能/チェック	Fiery Preflight Pro	Fiery Preflight
対応しているファイルの種類	PDF、PDF/VT	PDF、PDF/VT、Postscript、PPML、VIPP、VPS
PDF/X、PDF 2.0、GWG などの業界標準への準拠	○	×
オブジェクトベースのエラーを視覚的に表示	○	×
低解像度の画像	○	○
オーバープリント	○	○
スポットカラーの欠落	○	○
フォントの欠落	○	○
使用可否	外部カラーサーバー：Fiery Graphic Arts Pro Package が必要 組み込みサーバー：使用不可	外部カラーサーバー：標準 組み込みサーバー：Fiery Automation Package が必要

Adobe PDF Print Engine 5.5

Fiery FS500 Pro サーバーには、Adobe PDF Print Engine インタープリターのバージョン 5.5 が含まれます。バージョン 5.5 は次の機能をサポートしています。

- PDF 2.0 規格をサポート
- 非常に細い線や、アウトライン付きの小さなポイントサイズのテキストを、より明るくきれいにレンダリングする細線レンダリング

Adobe PDF Print Engine の詳細については、こちらの Web ページをご覧ください。

メリット：

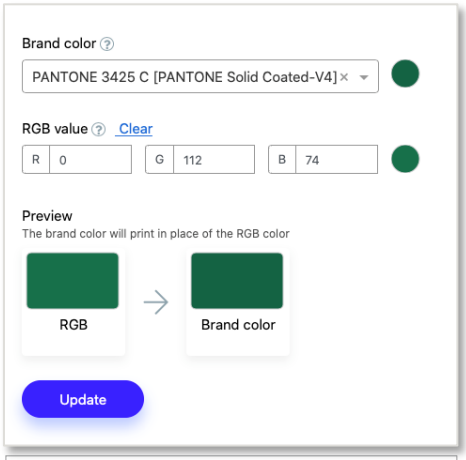
- PDF 2.0 対応（詳しくはホワイトペーパーをご覧ください）

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery JobExpert と PDF Processing Kit が必要

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery TrueBrand



Fiery TrueBrand アプリケーションでブランドカラーを RGB 値にマッピング

多くの場合、非プロ仕様の印刷環境では、Microsoft Word や PowerPoint などの RGB のみのアプリケーションから正確にブランドカラーを印刷することが困難です。

新しい Fiery TrueBrand™アプリケーションを利用すれば、誰でも簡単に RGB 値を名前付きのスポットカラーにマッピングできます。Fiery Driver から簡単にアクセスできる Fiery TrueBrand アプリケーションでは、手順に沿って、まず対象の名前付きカラーを選択してから、それに対応する RGB 値を選択します。これらの値が Fiery サーバーで設定されると、RGB 専用アプリケーションで使用される RGB 値の組み合わせが対象の名前付きカラーに自動的にマッピングされ、以降の印刷で使用できるようになります。ユーザーは数回のクリックで、ブランドカラーを正確に再現してプレゼンテーション資料やパンフレット、その他の業務書類を作成できます。

Fiery TrueBrand は、代理店や専門サービス業者（エンジニアリング、建築、建設など）といった会社や、クライアントや社内向け資料を印刷するオフィス環境など、ブランドカラーを正しく再現する必要のある環境に最適です。

メリット：

- ブランドカラーを正確に再現して簡単に書類を作成
- カラーに関する専門知識は不要

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

EFI ES-3000 のネイティブサポート

Fiery FS500 Pro サーバーは、EFI ES-3000 の測定計器をネイティブにサポートしています。ユーザーは Fiery Command WorkStation 6.6 以降の ES-3000 を選択して、Fiery Calibrator、Fiery Measure、Fiery Verify、Fiery Spot Pro、Fiery Spot-On™、EFI ColorGuard™と併用できます。また、Fiery Command WorkStation 内の用紙シミュレーション機能も利用できます。

メリット：

- 最新の分光測色計テクノロジーをサポート

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

PANTONE Formula Guide V4 のサポート

Fiery FS500 Pro サーバーには、PANTONE® Formula Guide Solid Coated V4 と PANTONE® Formula Guide Solid Uncoated V4 が組み込まれています。V4 ライブラリには、2019 年後半に 294 色が新規導入されています。

メリット：

- 最新の PANTONE カラーを完全サポート
  （追加のダウンロードは不要）

使用可否：

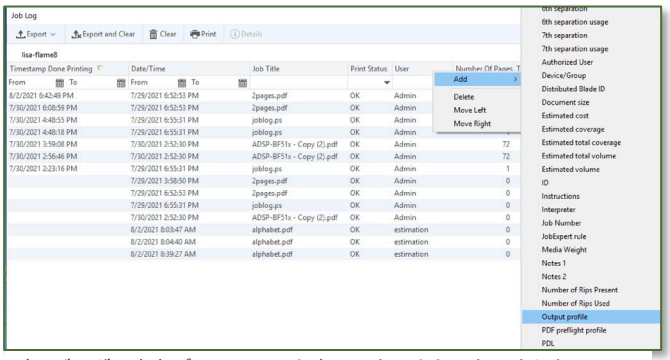
カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

注：PANTONE ライブラリは、前バージョンの Fiery ソフトウェアを使用しているユーザーがダウンロードすることもできます。

カラープロファイルの使用の追跡

Fiery ジョブログには、各印刷ジョブで使用された出力プロファイルが記録されます。表面と 裏面のプロファイルが異なる場合や、用紙種類の混合の例外ページのプロファイルにも対応可能です。



ジョブログに出力プロファイルを表示できるようになりました。

メリット：

- オペレーターが使用プロファイルを詳細に追跡可能
- カラーの問題のトラブルシューティングを簡易化
- 過去の印刷ジョブとのカラーマッチングを支援
- プロファイル情報を EFI IQ でも参照可能

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

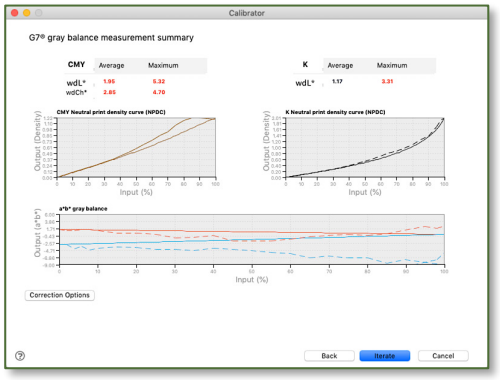
サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

キャリブレーターの改善

Fiery FS500 Pro サーバーには、EFI の最新のキャリブレーションテクノロジーがデフォルトで備わっています。

メリット：

- Fiery Command WorkStation* から直接 G7 グレースケールキャリブレーションにアクセスしてキャリブレーションを高速化することで、利便性が向上
- 計器ごとに測定モードを切り替え、正確な結果を取得することが可能
- EFI Fiery Measure テクノロジーで、新しい計器を動的に追加し、印刷室を最新の状態に保つワークフローを実行可能



Fiery Calibrator

** Fiery Command WorkStation と同じコンピューターに、Fiery Color Profiler Suite のライセンス版がインストールされている必要があります*

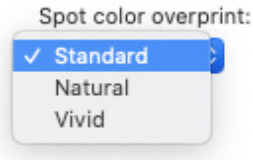
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	カラーサーバーのみ標準搭載
カット紙対応組み込みサーバー	カラーサーバーのみ標準搭載

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

スポットカラーのオーバープリント

デザインの中で、2 つのスポットカラーをブレンドしたり、スポットカラーとプロセスカラーをブレンドしたりする場合もあるでしょう。梱包用途でよく見られるシナリオです。新しいスポットカラーのオーバープリントオプションを使用すると、ソースの書類を編集せずに、デザイナーの意図に合わせて、ブレンドしたスポットカラーの見た目の定義方法を選択できます。



ジョブのプロパティに新しく導入されたスポットカラーのオーバープリントオプション

ブレンドされたスポットカラーのオーバープリント設定の例は次のとおりです。

標準 *CMYK 色空間でカラーをブレンドします。非 FS500 Pro/FS500 サーバーのスポットカラーのオーバープリント設定でのみ利用できます。*	***鮮明*** *Fiery FS500 Pro/FS500 サーバー用の新しい設定です。L*a*b 色空間でカラーをブレンドします。この設定では、画像やシャドウの細部が際立つ傾向があります。*	***ナチュラル*** *Fiery FS500 Pro/FS500 サーバー用の新しい設定です。RGB 色空間でカラーをブレンドします。Adobe Photoshop の RGB レンダリングに最も近い設定です。*

メリット：

- ユーザーがデザインの意図に合わせて、ブレンドしたカラーの見た目を調整できるオプションを使用可能
- オーバープリント設定はデジタルフロントエンドで変更できます。ソースファイルを修正する必要はなく、プロダクションが中断することもありません。

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準（コンポジットオーバープリントの有効化が必要）

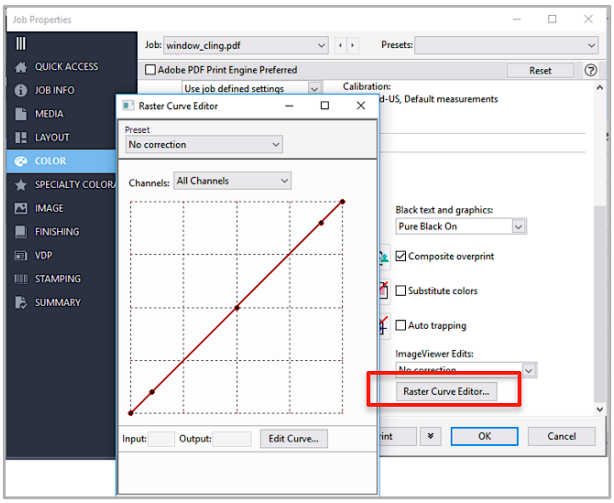
サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

ラスター曲線エディター

オペレーターは、ジョブのプロパティから直接ラスター曲線エディター* を使用して、ジョブで最終段階のカラー編集を実行できます。この機能は、追加のライセンスなしで利用できます。

ユーザーは、カラーチャンネルを個別に調整することも、すべてのチャンネルを一括で調整することもできます。曲線を編集するには、コントロールポイントをドラッグする方法と、曲線テーブルのデータを 1%単位で増分させて編集する方法があります。

カスタム曲線は、プリセットとして保存して以降のジョブに適用できます。また、カスタム曲線は、Fiery ImageViewer プリセットに同期されます。



ジョブのプロパティで使用可能なラスター曲線エディター

Fiery ImageViewer は、有料版の Fiery Graphic Arts Package（Fiery Graphic Arts Pro Package、Fiery ColorRight Package）に含まれています。広範なカラーおよびイメージ調整機能（高速なピクセルレベルのプレビューなど）、ページの特定領域内のカラーを調整する機能、およびカラーを置換する機能を備えています。

メリット：

- ジョブのプロパティで、最終段階での簡単な曲線編集をすばやく実行可能

その他のリソース：

- ビデオを見る

使用可否：

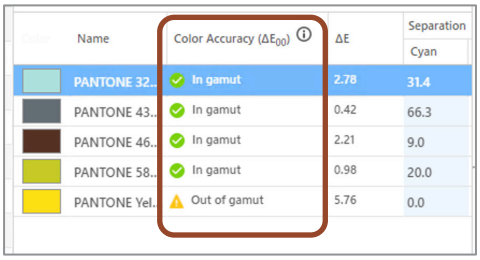
カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準（Fiery A20 サーバープラットフォームでは利用不可）

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6）

Fiery Spot Pro の改良

ユーザビリティの改善

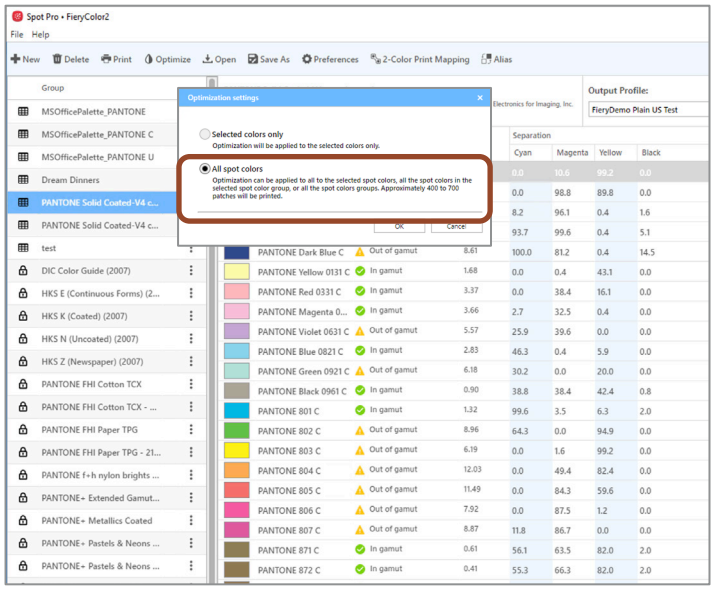
カラー精度（カラーがプリンターの色域内か色域外かを問わず）が dE 列から分離されました。これにより、特定のカラーの色域の状況をよりすばやく確認できます。



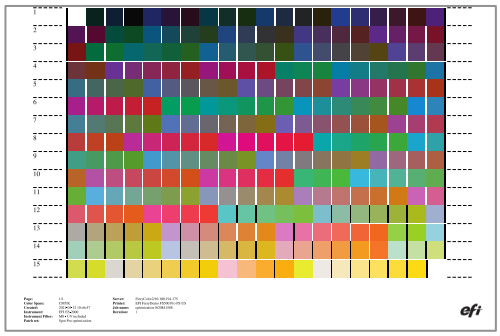
新しいカラー精度の列

すべてのカラーの最適化

スウォッチのサブセットを使用して、特定のプロファイルのスポットカラーのセットを簡単に最適化できるようになりました。たとえば、1 つ以上のスポットカラーのグループを最適化するか、すべてのスポットカラーを最適化するかを、1 つの手順で選択することができます。これにより時間を節約し、対象のプロファイルや用紙に合わせてスポットカラーを簡単に最適化できます。



Fiery Spot Pro の新しいオプションによって、より多くのカラーの最適化が可能に



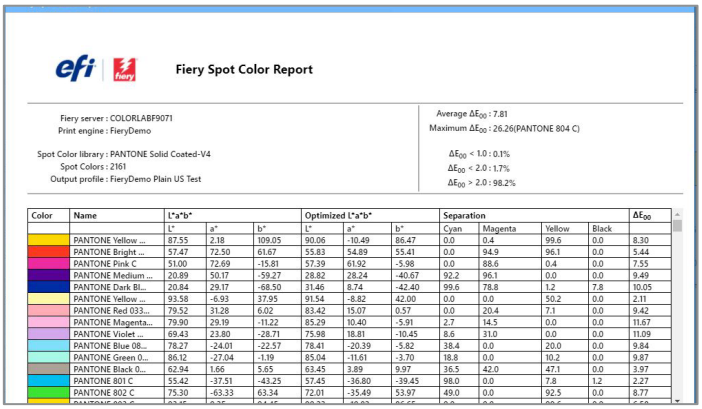
最適化チャート

スポットカラー最適化レポートの改善

拡張された新しいスポットカラー最適化レポートによって、個々のカラー単位とグループ単位の両方で、より詳細な情報を確認できます。

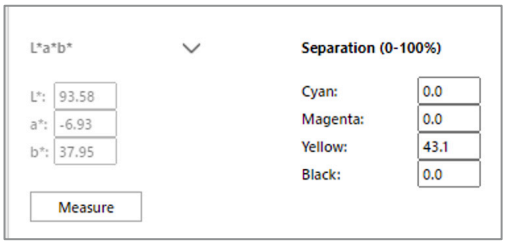
新しく追加される情報は以下のとおりです。

- 最適化されたスポットカラーのグループ全体のデルタ E（dE）の平均値および最大値
- dE が 1、2、または 3 のカラーの割合
- 最適化された各カラーの L*a*b の各値、最適化後の L*a*b 値、dE の値

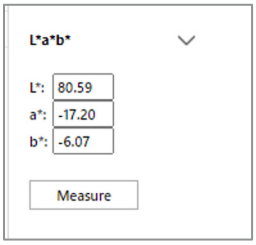


最適化されたスポットカラーの情報をより詳細に表示

L*a*b 編集コントロールも使いやすくなり、カスタムカラーで編集できる L*a*b 値が 1 つになりました。また、デフォルトのライブラリにあるカラーの場合は L*a*b 値がロックされ、編集できないようになりました（カラーを新しいグループにコピーすれば編集できます）。



*デフォルトのライブラリにあるカラーの L*a*b 値をロック*



*カスタムカラーの L*a*b 値のセットが 1 つに*

詳しくはビデオをご覧ください

メリット：

- 対象のプロファイルや用紙に合わせてスポットカラーを簡単に最適化
- スポットカラーの最適化に関する詳細情報を手早く確認
- スポットカラーが色域内かどうかを一目で把握

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery Graphic Arts Pro Package が必要
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery ColorRight Package が必要

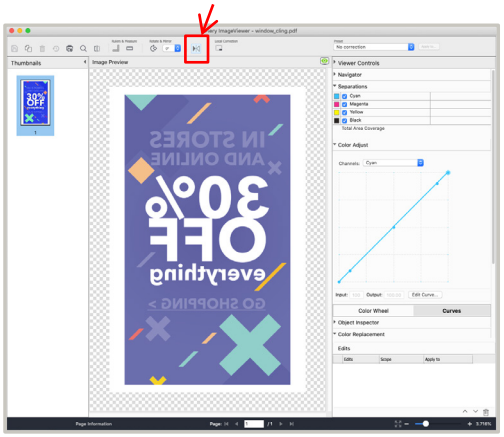
サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.7）

Fiery ImageViewer の改良

Fiery ImageViewer の次の新機能により、ラスターファイルのプレビューとカラー調整におけるユーザーエクスペリエンスが向上します。

ミラープレビュー

ミラープレビューオプションを指定すると、出力プレビューが反転します。



オリジナルファイルのミラーイメージ（ウィンドウステッカー、T シャツの転写、バックリットグラフィックスなど）として出力されるジョブのより正確なラスタープレビューをご利用ください。ミラープレビューは、ホワイトトナーが CMYK の上に印刷される特殊カラー用途でも便利です。ミラープレビューでは、ジョブのレイアウトは実際には変更されないことに注意してください。ミラープレビューは、プレビューにすぎません。

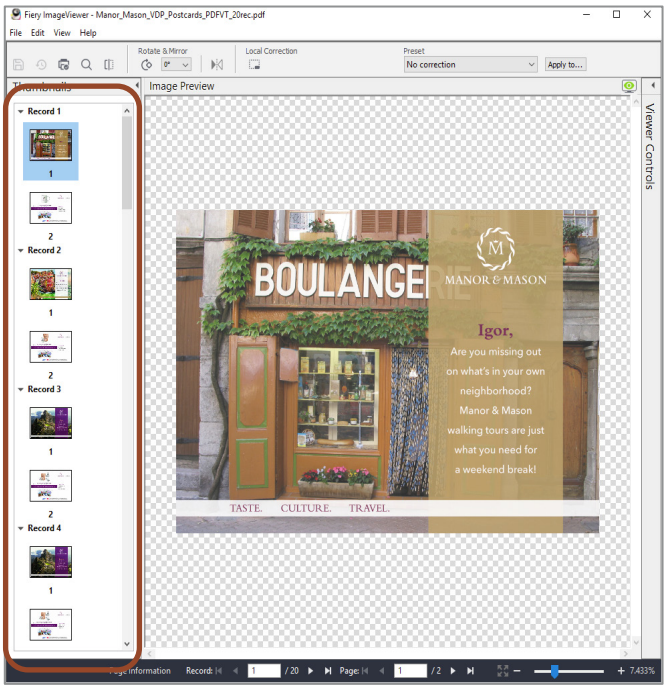
グローバル曲線調整

すべての曲線を一緒に調整

すべての分解要素にわたって曲線を簡単に調整できます。たとえば、ミッドトーン、シャドウ、またはハイライトの曲線を調整するときに、グローバル曲線調整を使用します。

ImageViewer でのページレベルのコントロール

ImageViewer にラスタープレビューコントロールが統合されたことにより、一元化されたインターフェイスで、リッピング済みのファイルのカラー補正や単純なページレベルの編集作業を行えるようになりました。これにより効率性と使いやすさが大幅に向上しています。



バリアブルデータ印刷ジョブでのページレベルのコントロール。レコードセットが表示されます。

ImageViewer の新機能は以下のとおりです。

- サムネイルビューでのページの並べ替え
- シートサーフェスとしてのサムネイルの表示
- ページの削除
- ページの複製
- すべてのページの選択
- 書類間でのページの移動（カット、コピー、貼り付け、ドラッグアンドドロップ）
- VDP ジョブをレコードセットとしてプレビュー（ページの並べ替え、削除、複製機能は使用できません）

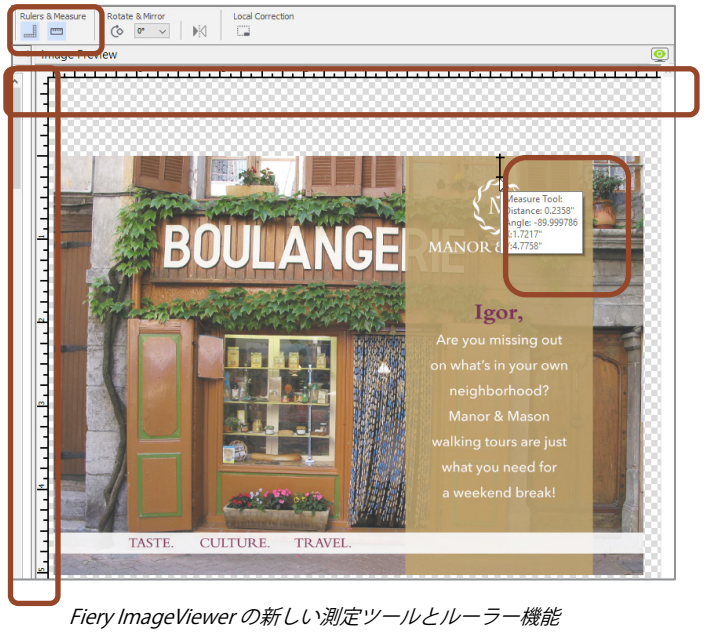
Fiery Graphic Arts Pro Package または Fiery ColorRight Package のライセンスを持つユーザーは、統合されたインターフェイスでジョブを右クリックし、「プレビュー」または「ImageViewer」を選択することでアクセスできます。

詳細については、ビデオをご覧ください。

測定ツールとルーラー

ImageViewer に、「画像プレビュー」ウィンドウで X および Y 軸にルーラーを表示するオプションが登場しました。ルーラーでは、さまざまな単位表示を設定できます。

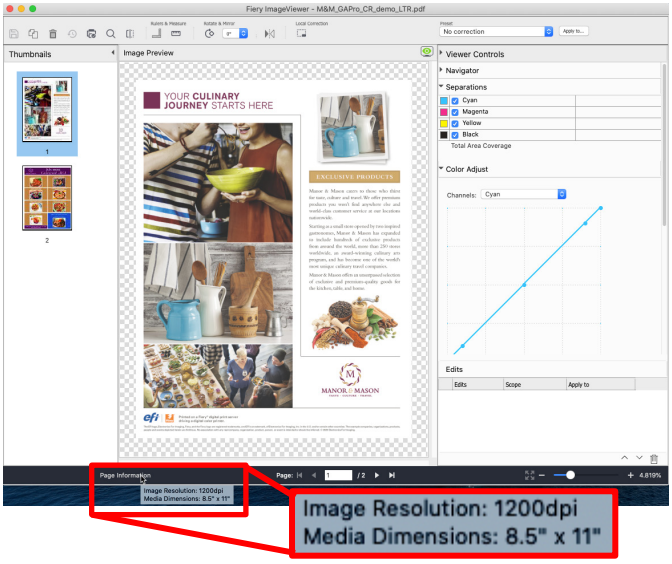
新しい測定ツールで、ページ内の特定の 2 点の間の距離を測定できます。



Fiery ImageViewer の新しい測定ツールとルーラー機能

書類と素材のサイズ表示

Fiery ImageViewer ウィンドウ下部の「ページ情報」ウィンドウにカーソルを置くと、カット紙対応 Fiery サーバーのページと素材（用紙）のサイズが表示されるようになりました。



Fiery ImageViewer ウィンドウの下部で、ページと用紙のサイズを確認

メリット：

- ミラーイメージとして出力される、より正確なジョブのプレビューを確認
- すべての分解要素にわたって簡単に曲線を調整
- 単一のインターフェイスでページレベルの編集を実行し、効率を向上
- 重要なページ/用紙属性の情報を一目で確認

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery Graphic Arts Pro Package が必要
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery ColorRight Package が必要

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6 および 6.7）

生産性

パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスの向上

Fiery FS500 Pro サーバーは、Windows ベースサーバー向けのハイブリッドディスクストレージ構成を使用する最新の Fiery NX シリーズのハードウェアプラットフォームをサポートしています。Fiery のソフトウェアとオペレーティングシステムには SSD、データには HDD が使用されるようになりました。

この新しいハードウェアアーキテクチャと Fiery ソフトウェアの統合によって、起動時間（電源オンから使用可能になるまでの時間）が短縮されています。また、クライアントコンピューターで実行される Fiery Command WorkStation で、アプリケーションを Fiery サーバーで実行する際や Fiery サーバーに接続する際に、アプリケーションの応答性とユーザーエクスペリエンスが向上しています。

ユーザーエクスペリエンスの高速化

Fiery NX Station で Fiery Command WorkStation を使用することにより、Fiery FS500 Pro での**アプリケーションの起動速度は 3 倍**になり、Fiery サーバーではジョブのスプール、RIP、印刷が同時実行されます。起動速度が速まることで、Fiery サーバーでアプリケーションを直接操作する際のユーザーエクスペリエンスが向上します。Windows または macOS コンピューターで Fiery Command WorkStation を実行するユーザーも、ジョブのプロパティ、Paper Catalog、プレビュー、Impose、ImageViewer といった一般的なアプリケーションの**起動速度が最大 40%向上**します。

また、最新の NX シリーズのハードウェアプラットフォームで実行される Fiery FS500 Pro サーバーでは、前世代と比較して**起動速度が 2–3 倍**になっています。起動速度が速まることで、サービスが向上し、ユーザーエクスペリエンスが向上しています。

複雑なファイルの処理の高速化

最新の Fiery NX ハードウェアと、Fiery FS500 Pro ソフトウェアの処理能力の改善によって、**処理と印刷のあらゆる段階でパフォーマンスが大幅に向上**しました。中でも、Fiery サーバーによってファイルのスプール、RIP、印刷が同時に実行される際の、大量の読み取りが行われるワークフローが大幅に改善されています。

たとえば、100 ページのタブロイド/A3 サイズの写真集（800 MB）の場合、最新の NX Pro ハードウェアで Fiery FS500 Pro サーバーを使用すると、既存の NX Pro ハードウェアで Fiery FS400 Pro サーバーを使用する場合よりも、**処理が 36%高速化**されます。

こうした処理の改善によって、ユーザーはグラフィックが大量に含まれるファイルでも、定格速度でエンジンを実行し続けることができます。そのため、プロバイダーは厳しい納期に対応し、顧客のジョブをより多くこなすことができます。

メリット：

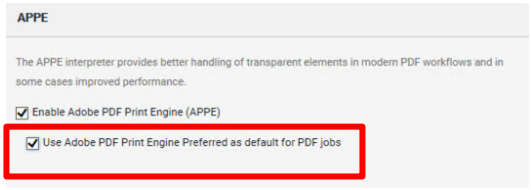
- Fiery サーバー上でアプリケーションを直接操作する際のユーザーエクスペリエンスの生産性と効率性が向上
- 起動速度の向上によって、ユーザーがより迅速にプロダクションに戻ることが可能
- 生産性の向上によって、納期に対応し、より多くの作業をより迅速にこなすことが可能

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

PDF Print Engine をデフォルトのインタープリターに設定



Fiery FS500 Pro 外部サーバーは、Adobe PDF Print Engine が PDF ジョブ用のデフォルトのインタープリターとして設定されています。PDF Print Engine では、PostScript に変換せずに直接 PDF の RIP を実行し、PDF ファイルで起こりうる潜在的なエラーを予防できます。Adobe のインタープリターテクノロジーと、EFI 独自のソフトウェアレンダリングエンジンを組み合わせた PDF Print Engine 搭載の Fiery サーバーにより、原本の PDF を高い信頼性で再現し、デザイナーや顧客の期待に確実に応える最終印刷物を制作できるようになりました。

ネイティブなエンドツーエンドの PDF ワークフローを導入している PDF 印刷サービスプロバイダーが増加しているため、PDF Print Engine をデフォルトのインタープリターとして設定すれば、時間を節約してプロダクションを効率化できます。これにより、PDF Print Engine インタープリター専用の Fiery JobExpert を使用して、ジョブのプロパティの設定も効率化できます。

PDF Print Engine を介してネイティブにファイルを処理することで、ジョブを Fiery サーバーに送信する前にコンテンツの変換や統合を行う必要がなくなり、時間を節約できます。PDF Print Engine なら、Fiery HyperRIP（対象のサーバーのみ利用可能）によってメイクレディファイルを処理できます

（Fiery Impose、Compose、または JobMaster を使用して準備）。また、ページベースのレンダリングインテントやオブジェクトベースの黒点補正などの PDF 2.0 機能をサポートしているほか、混合色空間や透明度を含む PDF を最も正確に処理できます。

メリット：

- より適切かつ正確な出力を生成
- ファイルの変換や統合を行わずにネイティブの PDF ワークフローを維持
- PDF Print Engine を使用し、Fiery Impose、Compose、JobMaster ファイル（対象のサーバーのみ）に HyperRIP の処理能力を活用
- PDF 2.0 の業界標準に準拠
- PDF ベースのワークフローの効率性を向上

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	デフォルトでは有効ではありません。PDF Print Engine は、オプションの Fiery JobExpert と PDF Processing Kit に含まれています。

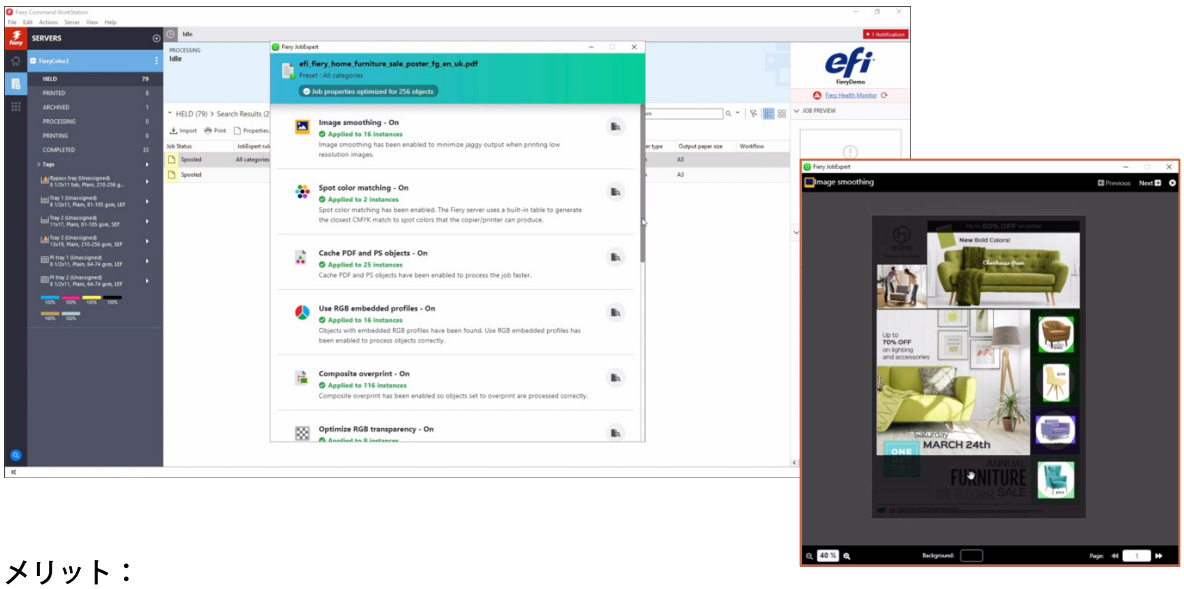
サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery JobExpert の改善

Fiery JobExpert は、プロダクション時間を最適化しつつ最高品質を実現するために、受け取った PDF ファイルを分析し、最適な印刷設定を動的に選択します。JobExpert をジョブに適用した後は、視覚的な JobExpert レポートを使用して、ジョブに適用された設定についての概要と説明を確認できます。プレビュー機能を使用することで、JobExpert によって特定の設定を有効化する必要があるかどうかを確認できます。印刷前にメイクレディ機能（Fiery Impose、Compose、または JobMaster を使用して準備）を実行しておけば、Adobe PDF Print Engine による処理中でも、ジョブのすべての JobExpert 設定を保持できます。

オプションの Fiery JobExpert と PDF Processing Kit を使用することにより、Linux ベースの FS500 組み込みサーバーでも Fiery JobExpert を利用できるようになりました。

また、Fiery JobExpert のサポート対象に PDF/VT ファイルが追加されました。エンドツーエンドの PDF ワークフローを導入しているお客様は、より効率的に PDF ファイルを操作して、適切な印刷設定を自動適用し、印刷を正しく確実に完了できるようになりました。



メリット：

- JobExpert による特定の設定の有効化が必要な要素を可視化
- 組み込みサーバーで JobExpert を活用し、最適な印刷設定を自動的に割り出すことが可能に
- 最適な印刷設定で、簡単に PDF/VT ファイルを印刷

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery JobExpert と PDF Processing Kit が必要

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery JobExpert と PDF Processing Kit

Fiery FS500 組み込みサーバー向けの Fiery JobExpert と PDF Processing Kit には、次のようなメリットがあります。

1. Fiery JobExpert にアクセスして、最適な Fiery ジョブのプロパティを自動設定し、最高の処理速度で最高の印刷品質を実現できます。
2. Adobe PDF Print Engine によって PDF ファイルをネイティブに処理できます。

3. PDF/VT-1 ファイルの完全サポートを実現します。PDF/VT のサポートによって、PDF ワークフローのメリットを VDP にも活かせます。これにより、印刷プロバイダーは、最終段階での重要なバリアブルコンテンツの交換などの機能を利用して、印刷サービスを拡張し、プロダクションの効率を高めることができます。システムは、PDF/VT ファイルを処理する際に、PDF/VT ジョブで定義されたレコードを検出して、再利用可能な XObject をキャッシュします。これにより、Fiery サーバーはリピート要素を 1 回だけ RIP 処理し、キャッシュできます。

   XMPie、FusionPro、EFI MarketDirect VDP などの VDP オーサリングツールを使用して、PDF/VT-1 ファイルを作成できます。

比較：PDF/VT のサポート

VDP 形式	**Fiery FS500 組み込みサーバー**	**Fiery FS500 Pro 外部サーバー**
PDF/VT-1	Fiery JobExpert と PDF Processing Kit でサポート	標準
PDF/VT-2	サポートされていません	標準

メリット：

- エンドツーエンドの Adobe ワークフローで一貫性のある予測可能な出力を保証
- PDF 2.0 の業界標準に準拠
- 印刷の処理時にファイルをネイティブの PDF 形式に保ち、PostScript の変換に伴う潜在的な問題を排除
- 最適な Fiery ジョブ設定を自動的に設定し、セットアップの時間と不要な手間を削減
- 透明度や小さなテキストを適切に印刷し、埋め込みプロファイルを考慮するなど、さまざまな機能で最高品質の出力を生成
- 既存の PDF ベースのプリプレス処理に合わせてシームレスに折りたたみを行い、1 つの共通 PDF 印刷プロダクションワークフローですべての種類のジョブに対応

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Adobe PDF Print Engine、JobExpert、PDF/VT-1 のサポートをすべて標準機能として提供
カット紙対応組み込みサーバー	オプション 注：以前の Fiery システムは、このオプションに対応していません。

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Duplo DC-618 フィニッシャーのカスタム面付け

Duplo DC-618 スリッター/カッター/クリーサー

オペレーターは、Fiery Impose を使用して、カット、クリース、ミシン目仕上げマークなどのカスタム面付けレイアウトをジョブに簡単にセットアップし、Duplo DC-618 の自動スリッター/カッター/クリーサーで仕上げることができます。

Fiery Impose は、Duplo DC-618 コントローラーソフトウェアと直接通信できます。このため、仕上げ定義を含むカスタムレイアウトを Duplo コントローラーソフトウェアで検証して保存できます。印刷されたジョブがフィニッシャーを通じて送られると、Duplo DC-618 は、印刷されたジョブを一連の仕上げ指示と照合します。つまり、オペレーターは、新しいジョブのカスタム仕上げ設定を含むすべてのカスタムレイアウトを Fiery Impose から簡単に作成できます。このため、カスタムレイアウトを含むジョブを確実かつ正確に印刷して仕上げることができます。

こうしたワークフローの統合により、面付けソフトウェアとフィニッシャーコントローラーソフトウェアのセットアップの重複が解消されます。オペレーターは、セットアップエラーややり直しなしに、複雑な仕上げオプションをカスタムジョブに適用できます。

Fiery Hot Folders か Fiery Hot Folders を使用することで、反復ジョブの面付けプロセスをさらに自動化できます。

Fiery Impose で仕上げ定義を使用して、ジョブレイアウトを簡単に作成する方法を解説したビデオをご覧ください。

メリット：

- 手作業を排し、ボトルネックを解消
- 制作ワークフローの効率化
- 印刷前に仕上げ線のプレビューを確認し、エラーを予防

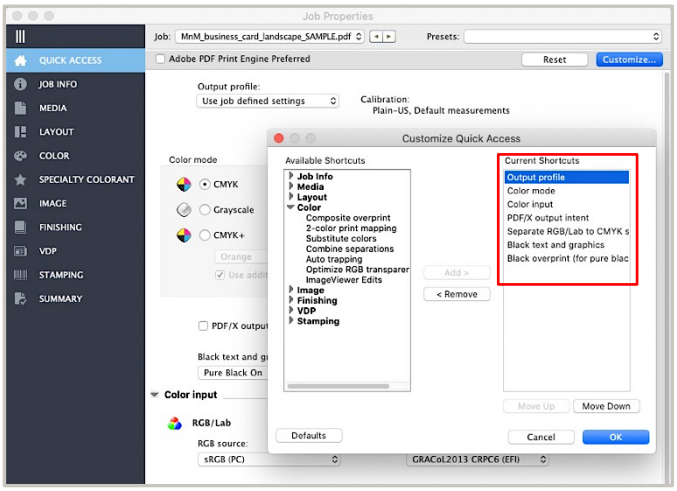
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery Impose が必要
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery Impose が必要

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6）

クイックアクセスのカラー設定の強化

ジョブのプロパティで「クイックアクセス」にカラー設定を追加し、ジョブのセットアップを高速化できます。このウィンドウには、次のカラーのショートカットを表示できるようになりました。



「クイックアクセス」ウィンドウに追加されたその他のカラー設定

- 出力プロファイル
- カラーモード
- カラー入力
    - RGB/Lab 設定
    - CMYK 設定
    - グレースケール設定
    - スポットカラー設定
- カラー設定
    - PDF/X 出力インテント
    - RGB/Lab を CMYK ソースに分解
    - ブラックテキスト/グラフィック
    - ブラックオーバープリント

メリット：

- ジョブのセットアップを高速化

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6）

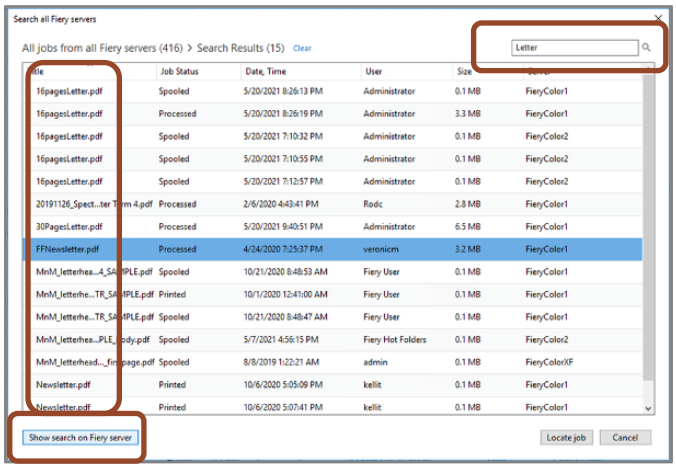
サーバーの垣根を越えたジョブ検索

印刷会社内のどこからでも、より簡単に Fiery 印刷ジョブを見つけることができるようになりました。Fiery Command WorkStation 6.7 を利用すれば、接続されたすべての Fiery サーバーを対象にジョブを検索できます。シンプルな検索機能を使用し、次のような条件を指定してジョブを検索できます。

- タイトル
- ジョブ状況
- 日付と時刻
- ユーザー
- サイズ
- サーバー

ジョブセンターのシンプル検索で「すべての Fiery サーバーを検索」を選択

結果のリストでは、検索ウィンドウ内の任意の列を基準に並べ替えることができます。ジョブをダブルクリックすると、検索ウィンドウが閉じ、該当する Fiery サーバーでそのジョブが自動的にハイライト表示されます。「Fiery サーバー上の検索結果を表示」を選択すると、ハイライト表示されたジョブがある Fiery サーバーで、その検索結果に移動します。



接続された複数の Fiery サーバーを対象とする検索結果が表示されたジョブ検索のウィンドウ

検索ウィンドウで検索ボックスをクリアすると、接続されたすべてのサーバーを対象として検索をやり直すことができます。

「すべての Fiery サーバーを検索」機能は、特定のユーザーから送信されたすべてのジョブの表示や、全 Fiery サーバーにおける処理済みおよび印刷準備完了済みのジョブ数を表示するのに使用することもできます。

詳細については、ビデオをご覧ください。

メリット：

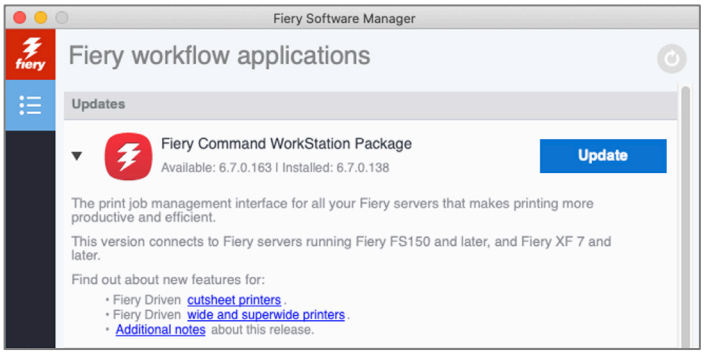
- 印刷会社内の Fiery 印刷ジョブを迅速に見つけることが可能

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.7）

Fiery Command WorkStation Package の毎月のアップデートの高速インストール



毎月の差分アップデートが表示された Fiery Software Manager

Fiery サーバーとクライアントコンピューターの両方で、Fiery Command WorkStation Package の毎月のアップデートが Microsoft® Windows®プラットフォームで一層高速にインストールされるようになりました。新しい「増分」インストーラーでは、インストールが必要なのは変更があったコンポーネントのみになるため、毎月のアップデートのインストールがこれまでより高速になります。これにより、今まで以上に早くアップデートを済ませて、印刷のプロダクションを再開できます。Command WorkStation のフルインストールが必要になるのは、6.6.xxx から version 6.7.xxx への移行など、フルバージョンの移行の場合のみになりました。

メリット：

- 毎月のアップデートのインストールが高速化され、アップデートの実行後により早く印刷のプロダクションを再開することが可能に

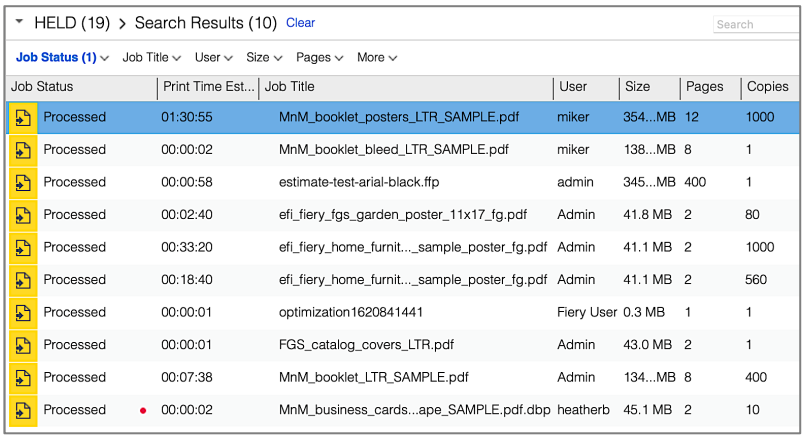
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.7）

管理

推定印刷時間



ジョブのスケジュール設定と印刷会社のプランニングを支援するため、Fiery FS500 Pro では推定印刷時間を確認できます（Fiery Command WorkStation 6.7 以降を使用する場合）。推定印刷時間は、ジョブリストに列として追加できます。推定印刷時間機能では、それまでの印刷ジョブに基づき、RIP 済みのファイルを対象に参照できます。通常のシフトを基に算出した場合、推定印刷時間の全体的な精度は平均 90%超になります。

メリット：

- 印刷ジョブのプランニングとスケジュール設定を改善

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery Finishing Designer

Fiery Finishing Designer は、インラインフィニッシャーの仕上げ定義の作成と編集を簡易化する、無料のビジュアルプログラミングインターフェイスです。 Fiery Command WorkStation からアクセスできるインタラクティブな WYSIWYG インターフェイスを使用して、ジョブを Fiery Driven™プレスでの印刷に送る前に、裁断、作成、ミシン目マークの位置を定義できます。

Fiery Finishing Designer でジョブのコンテンツに仕上げ線を表示

Fiery Finishing Designer には、仕上げの変数をプログラミングしながら、ジョブのコンテンツのライブプレビューを確認できる独自の機能があります。このソフト校正を使用することで、時間と用紙を浪費する仕上げ位置テストなしに、ジョブに適切な仕上げを施すための検証を行うことができます。仕上げ定義の互換性を確保するため、フィニッシャーのパラメーターと切り取りモードの制限がインターフェイスに組み込まれています。

仕上げ線と用紙設定を使用して Fiery サーバープリセットを作成することで、同様のジョブの実行時間を節約できます。Fiery Hot Folders、仮想プリンター、ジョブのプロパティ、サーバープリセット、Fiery JobFlow Base、Fiery JobFlow を利用すれば、プロセスをさらに自動化できます。

メリット：

- 印刷製品のライブプレビューに仕上げ定義を視覚的に追加
- 仕上げ線を含む面付けされたジョブのソフト校正を実施し、無駄を削減
- 出荷準備の整った完成品を作成

使用可否：

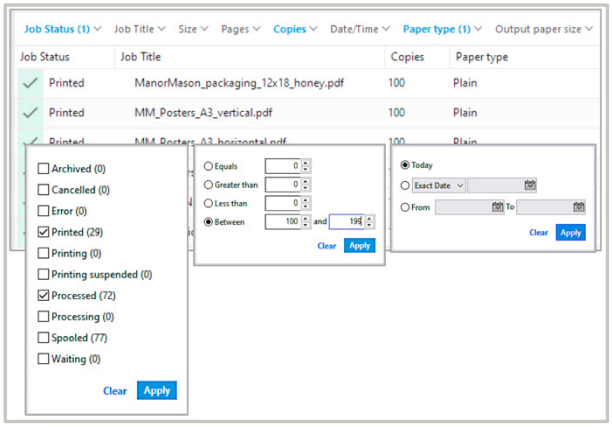
カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの機能一覧表でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの機能一覧表でサポート状況を確認

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

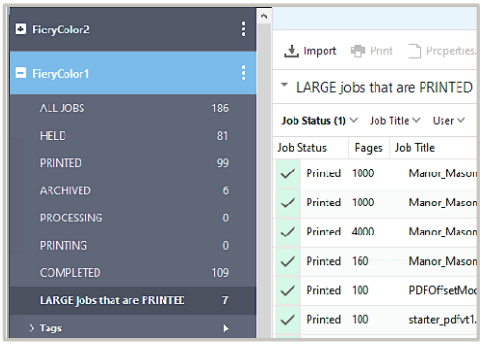
高度な検索

高度な検索は、詳細検索基準に基づいて、1 つ以上のジョブをかつてないほど迅速に見つけることができる強力な検索機能です。この強化された機能により、ユーザーは、次のことが可能になります。

- 使用可能なフィルターを同時に組み合わせたジョブの検索
- 1 つのフィルター内での複数項目の選択（該当する場合）
- フィルター内でのデータ範囲の選択（該当する場合）
- 日付フィルター内での「現在」オプションの選択



複数のフィルター、フィルター内の複数の選択項目、「現在」フィルター、およびデータ範囲フィルターを組み合わせた検索



カット紙 Fiery サーバーのカスタムビューとして保存された詳細検索

高度な検索は、ジョブリストのヘッダーにある新しいツールバーからアクセスできます。現在表示されているすべてのジョブ列をフィルターとして使用できます。「詳細表示」ドロップダウンを使用して、ツールバーに表示されるフィルターとその順序をカスタマイズすることにより、ジョブセンターを整理した状態に保つことができます。クリア機能を使用すると、適用されたすべてのフィルターをアクティブビューのデフォルトにリセットできます。

新しい「すべてのジョブ」ビューには、ジョブ状況にかかわらず、そのサーバーのすべてのジョブが表示されます。

フィルター処理されて生成されたカスタムジョブリストは、「すべてのジョブ」ビューからカスタムビューとして保存できます。このカスタムビューは、「サーバー」ペインまたは「表示」ドロップダウンから選択できます。

この強化された高度な検索機能は、以前のバージョンの Fiery Command WorkStation の詳細検索機能に取って代わるものです。

メリット：

- 特定のジョブや複数のジョブの検索を高速化して生産性を向上

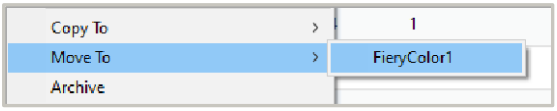
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6）

移動/コピー

「移動」機能を使用して、特定のサーバーから別のサーバーにジョブを移行できます。「コピー先」機能を使用して、ジョブを別の Fiery サーバーにコピーできます。



別の Fiery サーバーへの 1 つ以上のジョブの移動

コピーまたは移動の間、ジョブセンターの左下にあるステータスバーにタスクの進行状況が表示されます。どちらの機能の場合でも、ジョブが出力先サーバーに到達したときの状況は、「スプール済み」です。

メリット：

- 複数の Fiery サーバー全体でより効率的にジョブを管理

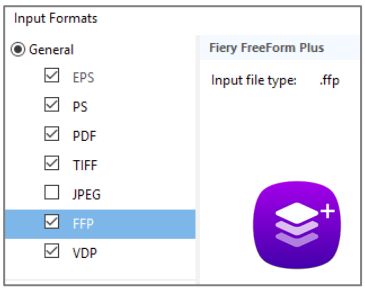
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6）

Fiery Hot Folders が Fiery FreeForm Plus ファイルに対応

FS500 Pro/FS500 サーバーをご利用のお客様は、Fiery FreeForm Create で Fiery FreeForm Plus ファイルを作成できます。作成したファイルは FreeForm Create から Fiery サーバーに直接送信するか、スタンドアロンファイルパッケージ（.ffp）として保存できます。



Fiery Hot Folders で使用可能な Fiery FreeForm Plus（.ffp）ファイル形式

これらのスタンドアロンの.ffp パッケージは、Fiery Hot Folders と一緒に使用することで、Fiery サーバーへの FreeForm Create ジョブの送信を自動化することができます。これにより、サーバープリセットや面付けテンプレートなどの属性の適用を、すばやく効率的に行えます。

詳細については、ビデオをご覧ください。

メリット：

- 適切な属性を設定して、Fiery FreeForm Plus ジョブをより効率的に Fiery サーバーに送信

使用可否：

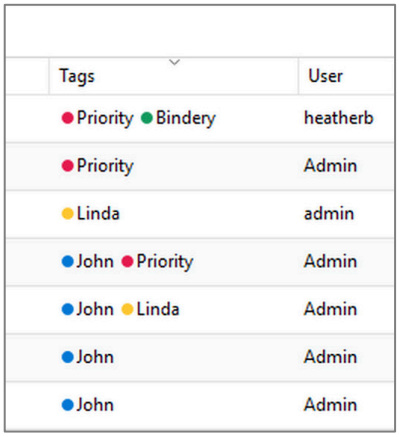
カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	Hot Folders/仮想プリンターが必要

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.7）

ジョブのタグ機能の強化

ジョブのプロパティのジョブに適用されるタグ

ジョブへのタグの割り当てを自動化できるようになりました。タグをジョブのプロパティのダイアログボックス内でジョブに適用し、サーバーのプリセットとして保存できます。Fiery Hot Folders や仮想プリンター、Fiery JobFlow にタグが含まれるサーバープリセットを選択し、ジョブをインポートすると、そうしたジョブは、タグ（複数可）が自動的に適用された状態で Fiery サーバーに送られることになります。こうして、Fiery 印刷ジョブは、プロダクション、プロセス、人、顧客などの Fiery 以外の部分や、ジョブのプロダクションに役立つその他のカスタム属性に、タグによって「関連付けられる」ことになります。



ジョブリストに追加されたタグの列

タグ情報がジョブリスト内の専用列に表示されるようになりました。ユーザーがこの列を追加すると、リストをアルファベット順（昇順または降順）で並べ替えることができます。複数のタグが単一のジョブに割り当てられている場合、タグは、ジョブに適用された順番でリストに表示されます。

詳細については、ビデオをご覧ください。

メリット：

- ジョブのタグの自動割り当てによって作業を効率化

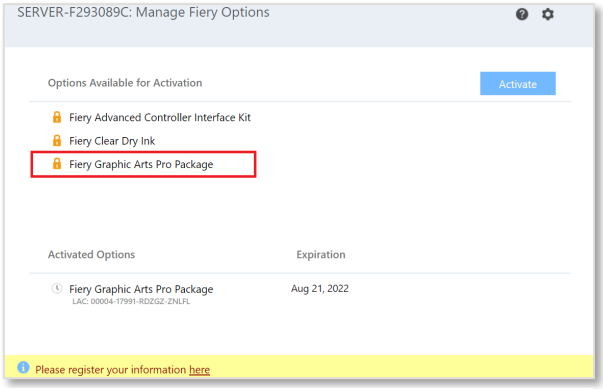
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.7）

ライセンス管理の簡易化

EFI は、Fiery FS400 Pro の時点で期間ベースのライセンス構造を導入しました。期間ベースのライセンスは、ユーザーにとっての柔軟性に優れています。お客様は、機器のリース期間に合わせて 3 年間、4 年間、または 5 年間のライセンスを選択して追加できます。1 年間または 2 年間のライセンスで短期費用を最小限に抑えることもできます。



既存のライセンスをアクティブな状態に保ちつつ、新しいサーバーベースのライセンスをアクティベート

期間ベースのライセンス構造が改善され、既存のライセンスをアクティブな状態に保ったまま、新しいライセンスをアクティベートできるようになりました。たとえば、あるユーザーが、30 日後に有効期限を迎える 1 年間の Fiery Graphic Arts Pro Package ライセンスを保有しているとします。このユーザーは今後も Fiery Graphic Arts Pro Package を使用したいと考えているため、Fiery 販売店から 4 年間のライセンスを新たに購入しました。このライセンスを受け取ったとき、即座にアクティベートできます。その際にこれらのライセンスの移行は中断を挟まずシームレスに行われ、1 つ目のライセンスの残り日数が無駄になることもありません。

メリット：

- 期間ベースの Fiery ソフトウェアオプションを、中断を挟まずに使用

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

連携

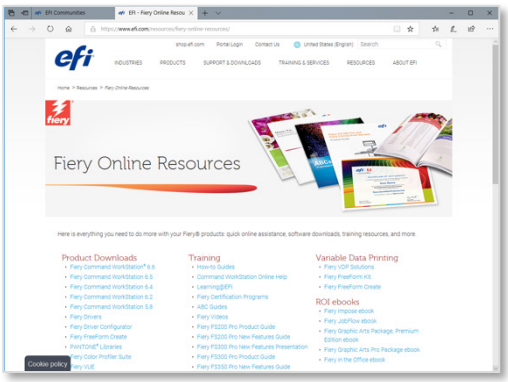
新しい Fiery のデフォルトのランディングページ

Fiery に関する専門知識やリソースに簡単にアクセスできるように、Windows ベースの Fiery FS500 Pro サーバーでは、Internet Explorer で 2 つの新しいデフォルトタブが開きます。

新しいデフォルトタブ：EFI Communities と Fiery オンラインリソース

EFI Communities では、Fiery ユーザーがエキスパートが集まる当社のグローバルコミュニティを利用して、ソリューションを見つけたり、アイディアを共有したり、EFI 製品についてのディスカッションに参加したりすることができます。このコミュニティには次のような機能があります。

- 一般的な問題や既知の問題に対するソリューションとして Fiery のテクニカルサポートチームが作成した技術記事で構成される、検索可能なナレッジベース
- 関心のあるトピックや特定領域のトピックを「フォロー」できる機能
- ユーザーのサイトでの過去のアクティビティに基づいて、動的にパーソナライズされる「フィード」
- 複数のソリューションの中から、「最適な」答えを選択できる機能
- モバイル対応のデザイン



Fiery オンラインリソースには、クイックオンラインアシスタンス、ソフトウェアダウンロード、無料トライアル、ROI 計算ツール、トレーニングリソースなど、Fiery 製品をさらに活用するために必要なあらゆるリソースが揃っています。

メリット：

- Fiery に関する知識やオンラインリソースにより手早く簡単にアクセス

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
注：Fiery ユーザーは全員がウェブサイトにアクセスできます。デフォルトタブは、Windows ベースの Fiery FS500 Pro 外部サーバーにインストールされたブラウザのみの標準機能です	

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

セキュリティの監査ログ

組織によるコンプライアンス要件への対応を支援するため、Fiery 管理者は、セキュリティや業務にかかわる Fiery システムのソフトウェアイベントを収集できます。こうしたイベントは、Fiery のセキュリティ監査ログに自動的に保存されます。管理者はデフォルトで有効になっているセキュリティ監査ログを参照することで、製品の動作を監視し、セキュリティ関連の問題にプロアクティブに対応できます。管理者がイベントの重要性を評価できるように、各セキュリティイベントは情報、警告、またはエラーに分類されます。

ログは、業界標準に即した形式で提供され、サードパーティのセキュリティ情報およびイベント管理ソリューション（SIEM）ソリューションと連携します。

Windows ベースの Fiery FS500 Pro 外部サーバーの場合、管理者は、Windows EventViewer を使用してセキュリティログを確認できます。Linux ベースの Fiery FS500 サーバーの場合は、セキュリティログが Syslog 形式になり、必要に応じてリモートサーバーにルーティングできます。

メリット：

- 顧客のセキュリティ要件や業界の規制への対応が可能
- Fiery 管理者が製品の動作を監視し、セキュリティ関連の問題にプロアクティブに対応可能

使用可否：

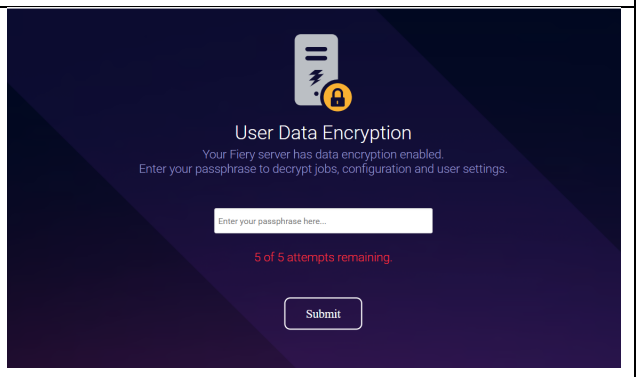
カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

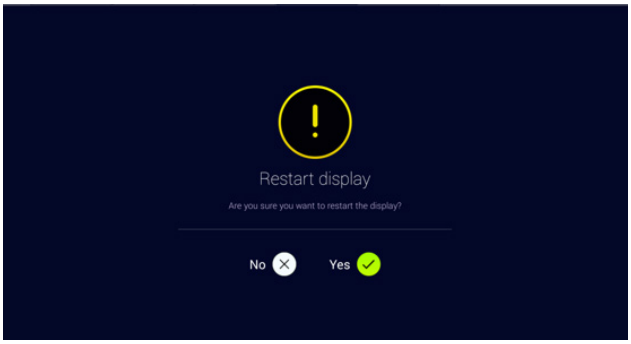
Fiery QuickTouch の改善

Fiery FS500 Pro 外部サーバーでは、7 インチのカラータッチスクリーンディスプレイ用ソフトウェアの Fiery QuickTouch に新機能がいくつか導入されています。複数のモジュールのステータス通知メッセージが改善されました。

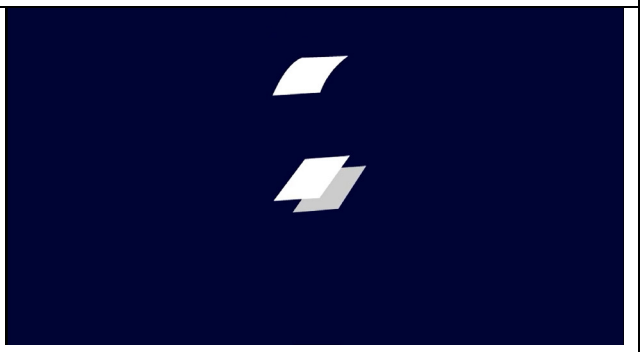
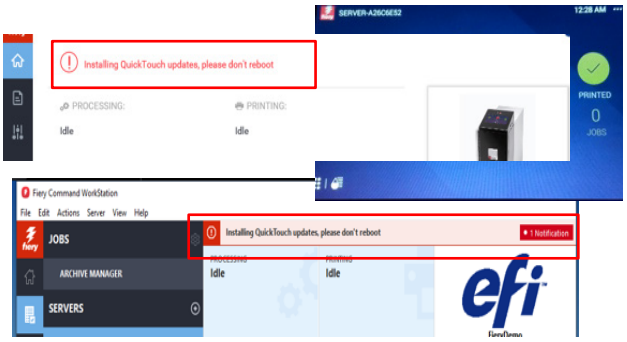
Fiery QuickTouch の新機能は次のとおりです。

メリット	説明	スクリーンショット
アクセスしやすさとセキュリティが向上	Fiery 管理者や Fiery のサービス担当者は、QuickTouch のディスプレイパネル上で、直接 Fiery のユーザーデータ暗号化機能を使用できます。ユーザーは暗号化パスワードを入力して、ディスプレイから直接 Fiery サーバーのロックを解除できます。	

Fiery QuickTouch の新機能（続き）：

メリット	説明	スクリーンショット
Fiery サーバーのトラブルシューティングが容易に	Fiery サーバーの自動回復が不可能になった場合は、ディスプレイ上で Fiery の回復モードオプションにアクセスできます。	
ルーチンメンテナンスのワークフローを簡易化	Fiery 管理者は、毎月、毎週、または毎日のバックアップについて、パネルから直接スケジュールを設定できます。	
QuickTouch のトラブルシューティングをローカライズ	新しい「*ディスプレイ再起動*」オプションによって、Fiery サーバーとは別個に Fiery QuickTouch をリセットできるようになりました。この機能は、Fiery QuickTouch がサーバーと通信できない状況で便利です。Fiery サーバーは使用可能な状態または Fiery QuickTouch の再起動時と同じ状態で維持されます。再起動後は、Fiery QuickTouch によって、Fiery サーバーとの通信が再度確立されます。	

Fiery QuickTouch の新機能（続き）：

メリット	説明	スクリーンショット
Fiery サーバーとは別個に運用することが可能	Fiery サーバーの再起動時に Fiery QuickTouch が自動的に再起動されることがなくなりました（その逆も同様）。Fiery サーバーが再起動されても、Fiery QuickTouch は再起動されず、紙が落ちるアニメーションが表示されます。	
アップデートや警告のわかりやすさが向上	Fiery QuickTouch ソフトウェアを実行するディスプレイモジュールに対するファームウェアアップデートが、Fiery WebTools と Fiery Command WorkStation という 2 つのエンドユーザー向けタッチポイントに表示されるようになりました。これらのメッセージは、Fiery QuickTouch ファームウェアのアップデート中に、ユーザーが Fiery サーバーを再起動したりシャットダウンしたりしないようにするために表示されます。	

メリット：

- バックアップ機能と回復機能の利便性が向上
- Fiery サーバーの潜在的なエラーのトラブルシューティングが容易に
- Fiery サーバーの不要な再起動がなくなり、より迅速にプロダクションに復帰可能
- より簡単に QuickTouch のアップデートと警告の通知にアクセス

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery JDF 1.8

Fiery JDF では、印刷ワークフローと業務管理システムを統合することで、ジョブの送信から出力までのプロセスを自動化できます。JDF ベースの統合のサポートが組み込まれているため、操作項目を最小限にしてエラーを抑えながら、ジョブ情報がシステムに送信されます。

Fiery JDF のバージョン 1.8 では、Fiery の新機能が組み込まれ、既知の問題の修正やパフォーマンスの最適化が施されています。

- 章ごとの仕上げ：両面印刷のジョブで、指定したページ範囲をシートの表面に印刷できます。
- ジョブ内オフセット：新しい属性によって、既存の「オフセットジョブ」と、新しい「ジョブ内オフセット」の機能が区別されます。
- 上積み許可：同じ排紙トレイを対象とする以降のジョブを、現在排紙トレイを使用しているジョブに上積みできるかどうかを判定します。
- ダブルパンチ：ダブルパンチ仕上げをサポートします。
- パフォーマンスと安定性の改善：バージョン 1.8 では、高生産環境での JDF 統合ワークフローのパフォーマンスと信頼性を大幅に高める最適化が施されています。

Fiery JDF の詳細については、 こちらの Web ページをご覧ください。

メリット：

- Fiery は、より多くの印刷ワークフローに対応し、あらゆる印刷環境での自動化の可能性を最大化するため、常に進化する JDF ベースの統合を提供しています。

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery Automation Package が必要

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery API 5.2

印刷のワークフローは、印刷業務ごとに異なります。Fiery の Application Programming Interface（API）によって、印刷会社は各自の開発環境を使用し、Windows®、Mac OS、iOS、Android など、さまざまなデスクトップやモバイルプラットフォーム向けに独自のアプリケーションやツールを短期間で開発できます。RESTful API によって Fiery インターフェイスが公開され、Fiery サーバーとの安全な双方向接続が確立されるため、開発者はジョブのデータを抽出してコスト分析やスケジュールの最適化用にカスタマイズしたり、お客様の既存のアプリケーションから基本的な設定を指定してジョブを送信したりできます。

Fiery API バージョン 5.2 に含まれる新機能は次のとおりです。

- パフォーマンスと安定性の改善
- GET /live/api/v5/papercatalog コマンドプロンプトによって、用紙カタログの応答速度が向上
- Fiery システムソフトウェア FS100 Pro/FS100 以前がサポート対象外に

Fiery FS150 Pro 以降の Fiery サーバーでは、Fiery Command WorkStation の Fiery Updater 経由でアップデートを受信します。

Fiery Command WorkStation v6.6 に付属する Fiery Spot Pro アプリケーションに対応するため、Fiery API v5.2 も必要です。

サンプルコード、API のマニュアル、プロジェクト用評価ライセンスの入手方法などを記載したオンボーディング用リソースは、developer.efi.com にあります。

メリット：

- 印刷会社の固有のニーズに合わせたカスタム統合の開発を促進

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

クラウド対応 Fiery サーバー

EFI Cloud Connector アプリケーションは、Fiery FS500 Pro を実行する Fiery サーバーにプリインストールされます。これにより、EFI IQ アカウントへの Fiery サーバーのオンボードプロセスが効率化され、より迅速にデータ収集と EFI IQ へのデータ送信を開始できます。

EFI IQ は、人、プロセス、印刷デバイスを結びつける、全く新しい有料および無料のアプリケーションスイートです。これにより、印刷ビジネスにおいて、データ主導の決定をより適切に行うことができます。このスイートには、次のものが含まれます：

IQ Dashboard（無料）

- 今日の主要なプロダクションメトリクスとプリンターの現在の状態をすばやく確認する場合に使用します。

EFI Insight（無料）

- 過去のトレンド情報を提供して今後のパフォーマンスを改善し、デバイスやシフト間のパフォーマンスを比較して作業現場の生産性を向上させます。

EFI Go（無料）

- 複数のプリンターとジョブの状況をスマートフォンやタブレットから監視します。

EFI ColorGuard（有料）

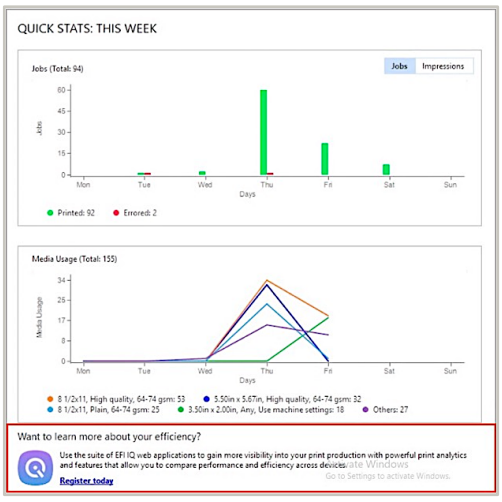
- カラー検証タスクを能率化し、カラー品質を経時的に追跡する場合に使用します。

EFI Manage（有料）

- リソースの同期、コンプライアンスの確認、デバイス状況の監視を通じてプリンターを管理する場合に使用します。

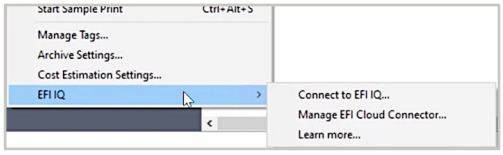
Fiery Command WorkStation では、EFI IQ への接続がかつてないほど簡単になりました。

- Fiery Command WorkStation のホーム画面の「クイック統計」エリア内で、EFI IQ アカウントへのサインインや登録を行えます。



ホーム画面から EFI IQ への接続

- Fiery サーバーで EFI IQ を有効化およびアクティブ化するオプションが登場しました。この操作は、Fiery Command WorkStation Server のメニューから直接行うことができます。



Fiery サーバーのメニューから EFI IQ へのオンボード

メリット

- EFI IQ へのアクセスしやすさが向上

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

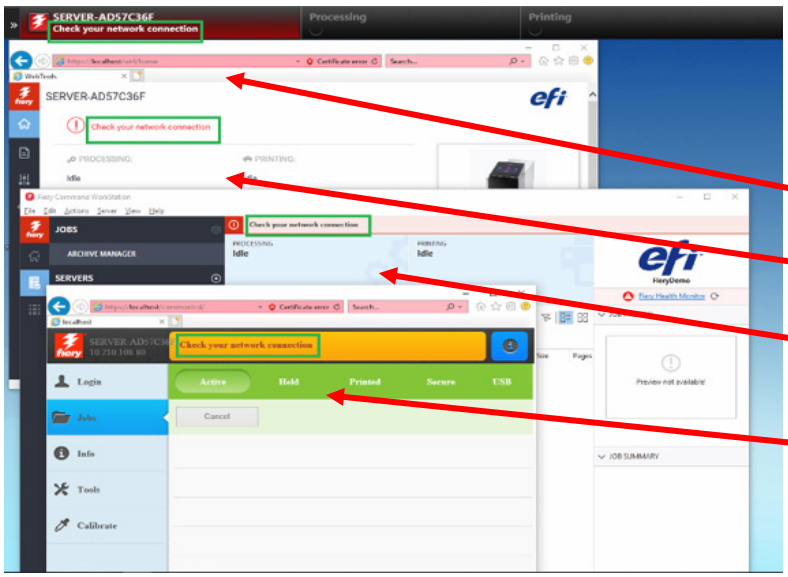
サーバー機能かクライアント機能か：クライアント

ネットワークステータス通知

Fiery サーバーはネットワークの接続ステータスを監視し、接続できない場合に通知を表示します。こうした通知により、お客様のネットワークの安定性に関する問題はより効果的に可視化され、Fiery の可用性に影響する可能性のある問題を確認したり、Fiery サーバーの不要な再起動を防止したりできます。

この通知は、Fiery Ticker、Fiery QuickTouch、Fiery WebTools、Fiery Command WorkStation に表示されます。

Fiery 管理者は、Fiery WebTools でこの通知の有効、無効を切り替えることができます。ネットワークイベントメッセージでは、詳細な調査やトラブルシューティングに役立つログも生成されます。



Fiery アプリケーションのネットワークステータスの通知の例は次のとおりです。

- Fiery Ticker
- Fiery WebTools
- Fiery Command WorkStation
- プリンターの LCD（Fiery LCD）上の Fiery オプションへのリモートアクセス

メリット

- Fiery サーバーにエラーが生じる可能性があるネットワークの問題をより効果的に可視化
- Fiery サーバーの不要な再起動を防止

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Debian 10 Linux

Fiery FS500 システム搭載の Fiery 組み込みサーバーには、Debian 10 Linux が含まれます。Debian 10 には、セキュリティ関連の修正と安定性に関するアップデートが施されています。

メリット

- セキュリティと安定性が向上

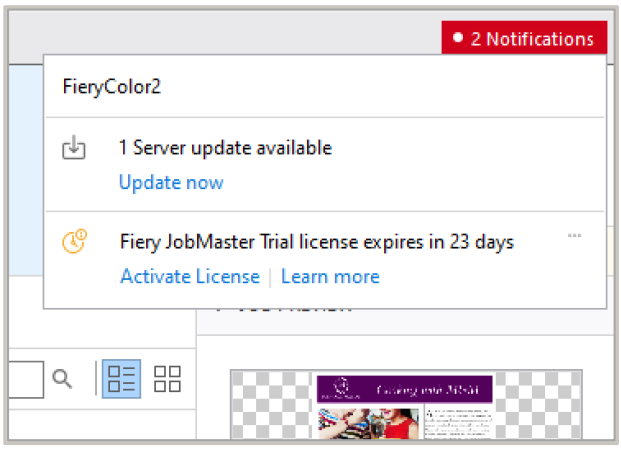
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	使用不可
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery Command WorkStation の通知

Fiery Command WorkStation では、Fiery サーバーと Fiery ソフトウェアの両方の通知が 1 か所に表示されるため便利です。通知のタイプは、接続されている Fiery サーバーの種類とログイン権限によって異なります。サーバー通知は、ジョブセンターの右上に表示され、次の内容が含まれます。



Fiery サーバーと Fiery ソフトウェアの通知

- 使用可能なサーバーアップデートに関する通知：
  - EFI IQ などの新しいアプリケーションを使用できるようにするためのソフトウェアアップデートなど
- 次のソフトウェアライセンスの有効期限に関する通知：
  - Fiery Impose、Compose、JobMaster 無料トライアルなどのクライアントベースのライセンス
  - Fiery Graphic Arts Pro Package や Fiery ColorRight Package などのサーバーベースのライセンス

メリット

- 利用可能な Fiery サーバー/ソフトウェアアップデートに関する重要情報へのアクセスしやすさが向上

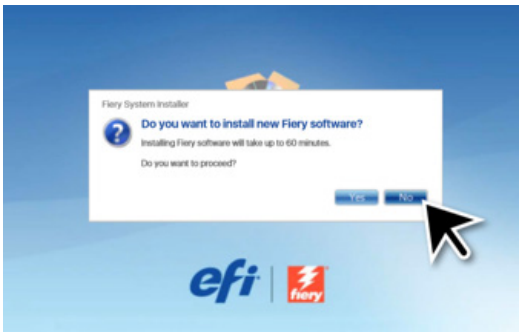
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：クライアント（Fiery Command WorkStation 6.6）

高い信頼性

Fiery システムソフトウェアのインストールワークフローの改善



Fiery FS500 Pro サーバーでは、Fiery ソフトウェアのインストールプロセスのアーキテクチャが大幅に変更されています。Fiery ソフトウェアを Windows オペレーティングシステムから分離してインストールできるようになり、次のようなメリットが発生しました。

- 再インストールの時間を削減 [1]—Fiery ソフトウェアをロードしなおす必要がある場合でも、Windows OS を再インストールしたり、Microsoft のセキュリティアップデートをすべてダウンロードしたりする必要がありません [2]
- Fiery の最新バージョンへの有料アップグレードを簡易化 — 現場のシステムの Fiery ソフトウェアのアップグレードが高速化されます

[1]Fiery Installer Builder（FIB）を使用する場合
[2]Fiery のバックアップイメージからの回復/復元ワークフローには、Windows OS と Fiery ソフトウェアの両方が含まれます

メリット

- サービス担当者がより手早く簡単に Fiery サーバーの補修やサポートを行うことが可能
- Fiery ソフトウェアのインストール時間を削減してサービスエクスペリエンスを改善

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery 自動回復の改善

Fiery 自動回復に、Fiery サーバーを通常動作に戻す自動プロセスが導入されました。このプロセスによって、より少ない手間で Fiery サーバーがエラー状態から回復できるようになります。

Fiery FS500 Pro サーバーでは、直観的な操作で自動回復プロセスを実行できます。ユーザーデータへの影響を最小限に抑えるため、回復スクリプトは所定の順番で実行されます。

ユーザーの通知とステータスの改善

自動回復プロセスでは、新しい進捗バーが追加されています。これにより、サーバー上で操作が行われていないように見えるとき、ユーザーやサービス担当者が Fiery サーバーの「オフ」ボタンを押すのを防ぐことができます。この進捗バーは、Fiery WebTools と Fiery QuickTouch に表示されます。

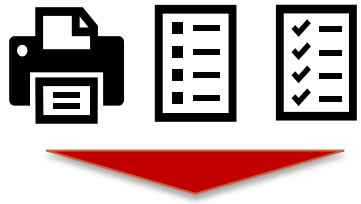
FS400 Pro の進捗インジケーター

FS500 Pro の進捗インジケーター：各ステップの残り時間をわかりやすく表示

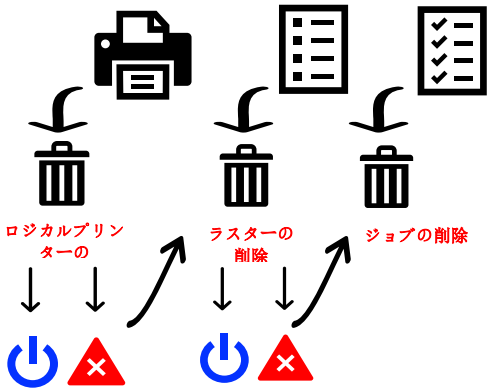
回復プロセスのわかりやすさが向上

Fiery サーバーが*回復モード*の場合に、Fiery サーバーのクリア機能が 3 つのプロセスで構成されるようになりました。このステップは所定の順番で実行され、ラスターデータやジョブなどのアイテムは維持されるため、必要以上に削除されることはありません。

Fiery サーバーのクリア機能の比較：FS400 Pro と FS500 Pro



1 つのステップのプロセス
FS400 Pro



3 つのステップのプロセス
FS500 Pro

メリット

- クリアの進捗インジケーターによって、ユーザーが回復プロセスに介入するのを防止
- プロセスのわかりやすさを高め、アイテムが必要以上に削除されるのを防止

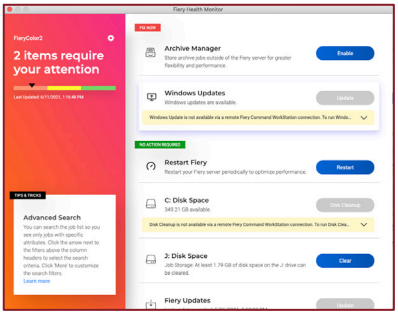
使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

Fiery ヘルスモニターの改善

Fiery ヘルスモニターに、サーバーの管理やメンテナンスの効率化に役立つ情報が追加されました。Fiery サーバーに Windows アップデートが必要になったときや、Fiery サーバーの C ドライブが容量不足になったときに、Fiery Command WorkStation クライアントからそれを把握できます。これにより、オペレーターはより迅速に対策を講じ、環境の生産性と安全性を保つことができます。



プレースホルダー画像

メリット：

- プロアクティブな Fiery のメンテナンスによって Fiery のパフォーマンスとセキュリティが向上

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

セキュア

セキュリティアップデート

Fiery FS500 Pro サーバーには、業界のセキュリティ基準をクリアするために必要な最新のセキュリティアップデートがすべて含まれています。

特に重要なセキュリティアップデートは次のとおりです。

- ポート 80 を介した非セキュア通信を、Fiery Configure から無効化することが可能に
- Fiery の証明書管理モジュールを改善：
  - キー長 4096 ビットおよび 3072 ビットの RSA 証明書をサポート
  - 一般的な PKCS 形式の証明書と、暗号化された秘密鍵ファイルのアップロードをサポート
  - デフォルトの自己署名証明書が Fiery サーバーにインストールされるようになり、NX Station を使用する Fiery サーバー上に証明書に関する無効な警告メッセージが表示されるのを防止
  - Fiery Configure からネットワーク設定が変更された場合に、Fiery の自己署名の証明書を自動的に再作成
- コアコンポーネントとオープンソースのパッケージを改善
  - Fiery とのセキュアな通信すべてで、TLS v1.2 および TLS v1.3 を活用
- Fiery FS500/FS500 Pro のソフトウェアアップデートとサービスパックが SHA-2 で署名され、セキュリティが向上
- Fiery FS500 Pro サーバーのセキュリティ機能の詳細については、Fiery のセキュリティに関するホワイトペーパーをご覧ください。

メリット：

- セキュリティ関連の最新のプロトコルや基準に準拠

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

ネットワークセキュリティ設定の強化

Fiery FS500 Pro サーバーの事前構成では、最も一般的なネットワークプロトコルとサービスのみがデフォルトで有効になっています。

また、この新しいデフォルト設定は、Fiery のセキュリティプロファイルに即してプログラムされており、さまざまなリスクや脅威のレベルに応じて、セキュリティに関する既定の推奨案が提示されます。高セキュリティ環境で推奨される高セキュリティプロファイルに、次のネットワーク設定が追加されました。

- ポート 9100 をデフォルトで無効化
- SLP をデフォルトで無効化（カット紙のみ）
- NetBIOS をデフォルトで無効化

メリット：

- IT 管理者によるインストールプロセスを簡易化
- 高セキュリティ環境での要件対応を促進
- 一般的ではないプロトコルやサービスによって、ネットワークトラフィックが不必要に増大するのを防止

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

ユーザー指定の Windows 10 オペレーティングシステムのサポート

Fiery FS500 Pro サーバーのアーキテクチャの変更により、Fiery ソフトウェアを Windows オペレーティングシステムとは別個にインストールできるようになりました。行政や金融などの高セキュリティ環境のお客様にとって特に役立つ機能です。これらのお客様は、Fiery サーバーにデフォルトでインストールされている Windows 10 2019 LTSC OS を使用するのではなく、独自に Windows 10* 半期チャネル（SAC）オペレーティングシステム（OS）イメージをインストールし、維持することもできます。SAC などのカスタムの OS 設定は、特定の業務セキュリティポリシーに準拠します。これにより、セキュリティポリシーや業界の規制に準拠する必要がある高セキュリティ環境にも柔軟に対応できます。

なお、Fiery サーバーの一部の機能は、Windows 10 SAC OS では動作しない場合があることにご注意ください。インストールや設定のサポートに、Fiery プロフェッショナルサービスが必要な場合があります。詳細については、Fiery 販売店までお問い合わせください。

メリット：

- セキュリティ関連のコンプライアンス要件に対応するため、高セキュリティ環境向けにハードニングされたカスタムの Windows OS イメージを使用することが可能

** OS サポートは、Windows 10 Enterprise v.1909 以降に限定されています*

使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可

サーバー機能かクライアント機能か：サーバー

修正/削除された機能

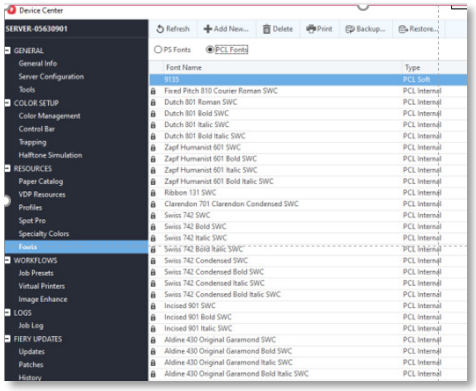
Adobe Acrobat Pro 2020 オプションキットへの置き換え

Adobe Acrobat Pro 2017 および Enfocus PitStop Edit 2019 の代わりに、Adobe® Acrobat® Pro 2020 オプションキットが導入され、1 つのソリューション内で大部分の機能が提供されるようになります。ユーザーは、EFI の Adobe Acrobat Pro 2020 オプションキットか、独自の Adobe Acrobat サブスクリプションを使用することで、Fiery Impose、Compose、JobMaster 内から PDF ページを編集できます。

詳細は、簡単な ビデオ や、ダウンロード可能な機能比較表でご確認ください。

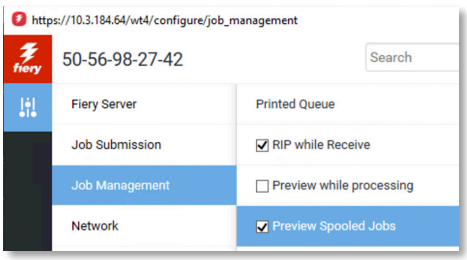
PCL ソフトフォント

Fiery サーバーにロードされた PCL フォントが永久保存されるようになりました。Fiery サーバーを再起動する際に、PCL フォントを再ロードする必要がなくなります。



スプール済みジョブのプレビューのオプション

ユーザーは、Fiery サーバーにスプールされたジョブのサムネイル自動作成を無効化できます。この設定は、Fiery Command WorkStation で、ジョブの概要とジョブリストに表示されるスプール済みジョブに適用されます。デフォルトでは、サムネイル作成がオンになっています。

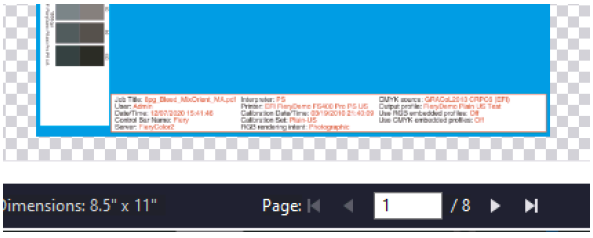


プレビューを無効化すると、複数のジョブが Command WorkStation にインポートされたときの RIP とユーザーインターフェイスのパフォーマンスが向上します。

コントロールバーの範囲の縮小

Fiery のコントロールバーの情報は、ジョブコンテンツの上に重ねられる白い背景に表示されます。以前までは、この白い背景がシートの端まで広がっていました。この白い背景の範囲が、コントロールバーのコンテンツの端まで縮小し、ジョブコンテンツと重なる範囲が狭くなりました。

FS500 Pro のコントロールバー（範囲小）



FS400 Pro のコントロールバー（範囲大）

無料の学習リソース

Learning@EFI には、自分のペースで進められる Web ベースの無料コースやビデオ、実用的なガイドなど、多忙な中でも取り組みやすく、ニーズに合わせて選択できるさまざまな学習リソースが揃っています。

- e ラーニングコース：インタラクティブなオンラインラーニングセッション
- シミュレーションラーニング：リアルな没入型環境で、技術やプロセスの演習に取り組むことができるラーニングソリューション
- エクスプレスビデオ：EFI の分野エキスパートが制作した、重要トピックに関する短いビデオ
- ウェビナー：学習用の継続的な無料ウェビナープログラムとして、カラーのプロフェッショナルや、印刷会社およびインプラント/CRD 業務のオーナー、マネージャー向けの World of Fiery ウェビナーの録画を視聴可能
- ハウツーガイド：サンプルファイルを使用して詳細な手順を解説

Fiery 認定プログラム

今日の急速に変化する世界において、印刷のプロフェッショナルが生産性やキャリアのレベルを高めるには、コストを抑えながらスピーディに新しいスキルや資格を習得できる便利な手段が必要です。競合他社の一歩先に進みましょう。EFI の認定プログラムを取得すれば、印刷のプロフェッショナルとして職場で差をつけることができます。

Fiery プロフェッショナル認定

Fiery プロフェッショナル認定は、EFI のテクノロジーソリューションのパフォーマンスを最適化するスキルを学べる、印刷プロフェッショナル向けプログラムです。EFI の分野エキスパートが開発したこのプログラムでは、従業員のスキル向上やキャリア開発の促進、印刷ビジネスの変革を目的として、Fiery テクノロジーに関する最新情報が提供されます。

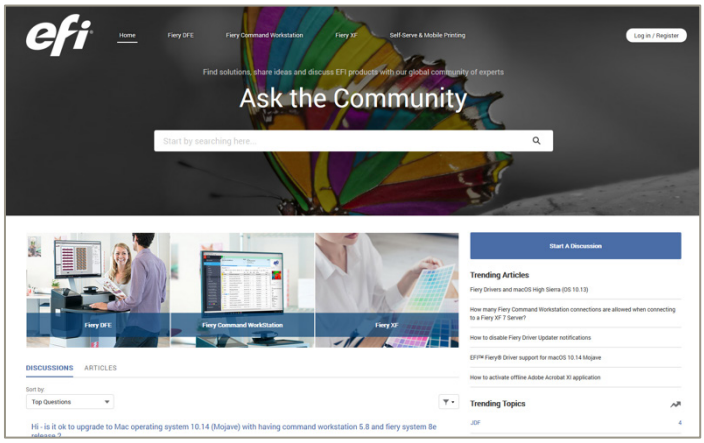
Fiery エキスパート認定

Fiery エキスパート認定は、Fiery プロフェッショナル認定を受けた人が、より深い専門知識を身に付けるためのプログラムです。このエキスパートコースでは、Fiery の高度なツールセットに関する知識を身に付け、あらゆる機能の使い方を習得できます。

Fiery 認定プログラムに関する詳細を確認する場合や、登録する場合は、こちらの Web ページをご覧ください。

EFI Communities

EFI はカスタマーエンゲージメントプラットフォームとして、communities.efi.com で EFI Communities を運営しています。ここでは、エキスパートが集まる当社のグローバルコミュニティを利用して、ソリューションを見つけたり、アイディアを共有したり、EFI 製品についてのディスカッションに参加したりすることができます。



EFI Communities のランディングページ

EFI Communities には、そのほかにも次の有用な機能があります。

- 一般的な問題や既知の問題に対するソリューションとして Fiery のテクニカルサポートチームが作成した技術記事で構成される、検索可能なナレッジベース
- 関心のあるトピックや特定領域のトピックを「フォロー」できる機能
- ユーザーのサイトでの過去のアクティビティに基づいて、動的にパーソナライズされるフィード
- 複数のソリューションの中から、「最適な」答えを選択できる機能
- モバイルデバイス対応の新しい Web デザイン
- ライセンス関連の質問に迅速に対応できる自動チャットオプションの Fiery Licensing Assistant

その他のリソース

以下の営業資料、トレーニング資料、および技術資料は、Fiery の印刷サーバーおよび関連する製品やアプリケーションに関する知識を拡充するのに役に立ちます。

Fiery サーバーのメインページ	fiery.efi.com
Fiery オンラインリソース	resources.efi.com
Fiery パートナーが販売する Fiery デジタルフロントエンドの詳細	efi.com/fierydfe
Fiery プロダクションソリューション	fiery.efi.com/production-solutions
Fiery Workflow Suite	fiery.efi.com/fws
Fiery とサードパーティのソフトウェアの連携	www.efi.com/fieryintegration
Fiery ドライバーのダウンロード	efi.com/fierydrivers
Fiery Command WorkStation のメイン Web ページ	efi.com/cws
Fiery Command WorkStation のダウンロード	fiery.efi.com/cws
Fiery ソフトウェアの無料トライアルのリクエスト	fiery.efi.com/free-trials
Learning@EFI のトレーニングリソース	learning.efi.com
EFI Communities	communities.efi.com

EFIは看板・パッケージ・繊維製品・セラミックタイル・パーソナライズされた書類の制作のための革新的テクノロジーを開発しています。EFIの提供する様々なプリンター・インク・デジタルフロントエンド・総合的ビジネスソリューション及び生産ワークフローにより、生産プロセスを改良・簡素化することで、印刷業界で圧倒的な競争力と高い生産性を手に入れることができます。詳細は：http://www.efi.co.jp まで。

Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.
The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inktensity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincrolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.
All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.

© 2021 Electronics For Imaging, Inc. All rights reserved. | WWW.EFI.CO.JP